

華中調查速報第一九三號
昭和十六年六月

齋政公報抄（邦譯） 民國三十年四月一日 第三十三號

興亞院華中連絡部

144

REEL No. A-0280

0005

アジア歴史資料センター

發送先

本院

華北聯絡部次長

蒙疆、厦門各聯絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集國參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、秦縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

各 各

九〇

部部部部部部部部部部部部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滬鐵上海事務所

東京研究所

中華民國法制研究會

各

各

部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

目 次

- 一、省會警察組織規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一頁
- 二、警察官吏兼郵修例施行細則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・八頁

省會警察局組織規程

(中華民國三十年三月十日公布)

- 第一條 本條例ハ各級警察機關編制大綱第十四條ニ依リ之ヲ制定ス
- 第二條 省會警察局ハ各該省警務處ニ直屬シ省會(一省ノ首府)區域内ノ警察事務ヲ掌理ス
- 第三條 省會警察局ハ法令ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ單行警察章則ヲ發布スルコトヲ得但シ該管警務處ニ報告シ認可ヲ受ケ更ニ之ヲ警政部及省政府ニ移牒シテ記錄セシムベシ
- 第四條 省會警察局ハ所屬職員ノ處分又ハ命令ニ對シ法令ニ違背シ法益ヲ妨害シ又ハ權限ヲ侵越セルモノト認ムルトキハ之ヲ停止又ハ取消スコトヲ得

1

第五條 省會警察局ニ左記ノ各科處ヲ設ク

- 一 第一科
- 二 第二科
- 三 第三科
- 四 第四科
- 五 勤務督察處
- 第六條 第一科ノ掌理事務左ノ如シ
 - 一 規則ノ制定ニ關スル事項
 - 二 人事ニ關スル事項
 - 三 訓育ニ關スル事項
 - 四 文書及官印ニ關スル事項
 - 五 編纂及統計ニ關スル事項
 - 六 裝備ニ關スル事項

2

第七條 會計及庶務ニ關スル事項
八 其ノ他各科ニ屬セザル事項

第二科ノ掌理事務左ノ如シ
一 治安及風俗ニ關スル事項
二 交通ニ關スル事項
三 消防ニ關スル事項
四 戸口調査ニ關スル事項
五 保健ニ關スル事項
六 市政ノ援助ニ關スル事項

第八條 第三科ノ掌理事務左ノ如シ

一 審査訊問ニ關スル事項
二 探偵捕縛ニ關スル事項
三 鑑識ニ關スル事項

第九條 其ノ他司法警察ニ關スル事項
第四科ノ掌理事務左ノ如シ

一 情報ノ搜集ニ關スル事項
二 政治動態ノ注意及調査ニ關スル事項
三 政治犯ノ偵査及捕縛ニ關スル事項
四 外事警察ニ關スル事項
五 其ノ他政治警察事項

第十條 勤務督察處ノ掌理事務左ノ如シ

一 外勤ノ督察ニ關スル事項
二 各城門及停車場、波止場ノ検査ニ關スル事項
三 臨時検査ニ關スル事項
四 局長ノ交辦（處理スベク局長ヨリ交付セル事件）ニ關スル事項

第十一條 省會警察局長一人ヲ置キ薦任トシ該管警務處ヨリ有資格者ヲ選拔シテ警政部ニ申請シ認可ノ上之ヲ任命ス全局ノ事務ヲ綜理シ所屬機關及職員ヲ指揮監督ス

第十二條 省會警察局長ニ秘書一人ヲ置ク文書局務會議及機密事項ヲ審査處理ス

第十三條 省會警察局長ニ科長四人、勤務督察長一人ヲ置ク毎科ニ科員若干人ヲ置キ勤務督察處ニ勤務督察員若干人ヲ置ク

第十四條 省會警察局長該管區域ニ警察分局、警察分駐所、警察派出所ヲ分設シ區ヲ劃シテ職責ヲ分擔スベシ

第十五條 省會警察局長一人、局長、巡官若干人ヲ置ク分局ニ分局長一人、局長、巡官若干人ヲ置ク

第十六條 省會警察局長ハ事務上ノ必要ニ因リ適宜辦事員及書記ヲ置クコトヲ得

6

選拔シ該管警務處ニ申請シ警政部ニ移牒シテ審査ノ上之ヲ任命シ且省政府ニ報告シテ記録セシム

分局長ハ薦任待遇トシ局長ヨリ有資格者ヲ選拔シ該管警務處ニ申請シテ之ヲ任命シ警政部ニ移牒シテ審査ノ上之ヲ記録セシメ且省政府ニ報告シテ調査ニ備フ

科員、勤務督察員、局長、巡官ハ委任トシ局長ヨリ有資格者ヲ選拔シテ之ヲ任命シ該管警務處ニ報告シテ審査ノ上之ヲ記録セシム

辦事員、書記ハ局長之ヲ任命ス前項ノ科員、勤務督察員、局長、巡官、辦事員、書記ノ定員ハ局ニ於テ實際ノ必要ニ應ジ適當ニ之ヲ定メ理由ヲ聲明シ該管警務處ニ申請シテ之ヲ決定ス

第十七條 省會警察局長ハ治安維持及業務ノ必要ニ因リ警察隊、消防

隊、偵緝隊、水巡隊ヲ編制スルコトヲ得其ノ組織ハ實際ノ必要ニ應ジ該局ヨリ該管警務處ニ申請シ審査ノ上警政部ニ移牒シ記録セシメ且省政府ニ報告シテ記録セシム

第十八條 省會警察局ノ管轄スル分局及所ノ設置及廢止合併ハ該管警務處ニ申請シテ之ヲ決定スベシ

第十九條 省會警察局ノ各項辦事細則ハ局長ニ於テ制定シ該管警務處ヲ經由警政部ニ申請シテ之ヲ決定ス

第二十條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

警察官吏撫卹條例施行細則

(中華民國三十年三月十一日公布)

第一條 本細則ハ警察官吏撫卹條例第二十四條ニ依リ之ヲ制定ス

第二條 本條例第四條ニ稱スル心神喪失ハ瘋癲(氣狂)白癡(馬鹿)等ヲ謂フ而シテ治療スル能ハザル者ヲ廢疾ト稱シ左記事情ノ一アル者ヲ以テ標準トス

- 一 視力不能
- 二 聽力不能
- 三 發音不能
- 四 一肢以上ノ機能廢疾
- 五 其ノ他重要機能廢疾

前項ノ公務ニ因ル廢疾又ハ心神喪失ニナリタル者ハ官廳認可

ノ醫師ノ診斷書及服務機關ノ證明書ヲ検査ニ提出スベシ

第三條 本條例第四條、第五條ノ規定ニ依リ警察官吏ノ年郵金又ハ警察官吏ノ一次郵金ヲ受領シ得ル者ハ警察官吏請郵事實表五通ヲ作成シ退職時ノ服務機關ヲ經由郵政部ニ提出スベシ

第四條 本條例第六條ノ規定ニ依リ改メテ警察官吏年郵金ヲ受クベキ者ハ警察官吏請郵事實表ヲ作成シ本細則第二條第二項規定ノ診斷書及證明書ト共ニ退職時ノ服務機關ヲ經由郵政部ニ提出スベシ

前項ノ警察官吏年郵金ニ改ムルコトヲ認可シタルトキハ其ノ既受領ノ警察官吏一次郵金ハ郵政部ニ於テ警察官吏郵金證書ヲ發行スルトキニ之ヲ扣除スルモノトス

第五條 本條例第七條第一項ニ稱スル公務ニ因リ死亡シタル者ハ左記事情ノ一アル者ヲ以テ標準トス

一 職務執行中發生シタル危險ノ爲傷喪ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル者

二 出張中危險ニ遇ヒ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル者

三 執務中突然意外ナル危險ニ遇ヒ之ガ爲死亡シタル者

第六條 本條例第七條第九條ノ規定ニ依リ遺族年郵金又ハ遺族一次郵金ヲ受領スベク申請スルトキハ遺族請郵事實表ヲ五通作成シ該警察官吏死亡時ノ服務機關ヲ經由郵政部ニ提出スベシ

第七條 本條例第七條第三項ノ規定ニ依リ改メテ遺族年郵金ヲ受クベキ者ハ前條ノ郵金申請辦法ニ依リ之ヲ處理スルヲ除クノ外且死亡者ノ原受領ノ警察官吏年郵金證書ヲ提出スベシ

前項ノ遺族年郵金ニ改ムルコトヲ認可シタルトキハ其ノ警察官吏年郵金證書ハ郵政部ニ於テ之ヲ抹消ス

第八條 本條例ニ定ムル在職年限ニ對シ其ノ職務ニ歴任シタル任

官、免官ノ年月ハ請郵事實表内ニ詳細ニ明記スルコトヲ要シ且證明文書ヲ検査ニ提出スベシ

第九條 本條例ニ稱スル在職年俸ノ數目ニ對シテハ俸給法令ニ依リ又ハ表ニ記録シアルモノヲ以テ標準トス其ノ記載スベキ俸給ガ該官等ノ最低級俸ヨリ低キトキハ該官等ノ最低級俸ニ依リ郵金ヲ給與シ若該管等ノ最高級俸ヲ超ユルトキハ該官等ノ最高級俸ニ依リ郵金ヲ給與スルモノトス

第十條 本條例第十條ニ規定シタル各項ノ遺族ハ遺族請郵事實表内ニ之ヲ詳細ニ記入スベシ但シ成年シテヨリ廢疾ニナリタル子女又ハ廢疾ノ夫ナルトキハ正式診斷書ヲ検査ニ提出スルヲ除クノ外現住所ノ警察又ハ自治機關ノ證明書ヲ添付スベシ

第十一條 本條例ニ稱スル成年ハ滿二十歳ヲ謂フ

第十二條 各轉請（取次ギ交付スル）機關ニ於テ請郵事實表及證明

11

文書ヲ受理シタル場合若條例ニ符合セズ又ハ手續ノ不遵法若ハ證據不充ナルヲ認メタルトキハ各別ニ却下又ハ補正ヲ命ズベシ

第十三條 警政部長請郵事件ヲ審査シテ郵金ヲ給スベキモノト認メタルトキハ行政院ヲ經由國民政府ノ認可ヲ受ケタル後郵金證書ヲ發行シ原經由機關ニ配付シ之ヲ郵金受領人ニ送達セシムベシ

第十四條 郵金證書ハ四枚續キトシ第一片ハ控トシテ警政部長ニ保存シ第二片ノ證書ハ郵金受領人ニ交付シ第三片ノ調査票ハ財政部ニ送付シテ記録セシメ第四片ノ審査票ハ審計部ニ送付シテ審査ニ備フベシ

第十五條 財政部長警察官吏年郵金證書ノ第三片又ハ遺族年郵金證書ノ第三片ヲ受理シタルトキハ郵金ノ定額ニ依リ毎年二期ニ

12

分チテ之ヲ支給スベシ
第一期ハ四月ヨリ六月迄ヲ支拂期トシ第二期ハ十月ヨリ十二月迄ヲ支拂期トス
但シ年郵金總額ガ三十元以下ナルトキハ第一期ノトキニ一回全部支給スルコトヲ得

前項ノ郵金ハ財政部ヨリ每期警政部ヲ經由之ヲ原申請機關ニ傳達シ郵金受領人ニ受領セシメ且轉發機關ニ於テハ隨時其ノ郵金受領人ノ姓名、年齢、原籍、住所ヲ各別ニ表ニ記載シ各郵金受領人ノ現住所ノ法院ニ送付スベシ

第十六條 各轉發機關ガ郵金ヲ受領シタルトキハ直ニ郵金受領人ニ通知シテ受取ラシメ且隨時各郵金受領人ノ領收證ヲ警政部ニ提出スベシ

第十七條 財政部ガ警察官吏一次郵金證書ノ第三片又ハ遺族一次郵

金ノ調査票ヲ受理シタルトキハ郵金ノ定額ニ依リ警政部ヲ經由原轉發機關ニ交付シテ之ヲ傳達受領セシメ而シテ其ノ郵金證書ヲ回收シ警政部ニ轉送シテ之ヲ抹消スベシ

前項ノ郵金受領人ガ若他省市縣ニ居住シ自ラ之ヲ受領スル能ハザルトキハ最寄ノ人ニ託シ代リテ之ヲ受領又ハ受領書ヲ備ヘ郵金證書ト共ニ郵便ニテ提出シ郵便送金スベク請求スルコトヲ得

第十八條 郵金受領人ニシテ若本條例第十一條、第十二條第一項ノ事項アルトキハ法院ヨリ隨時轉發機關ニ通知シ更ニ警政部ヨリ經由財政部ニ移牒スベシ

第十九條 郵金受領人ニシテ若本條例第十一條第二項ノ事情アリ又ハ第十三條及第十四條第一、第四、第五各項規定ニ依リ其ノ受領權利消滅シ又ハ郵金受領人ガ本條例第十條第三第六兩項

ノ遺族ニシテ未ダ成年ニ達セザルニ死亡シタルトキハ轉發機關ヨリ隨時明確ニ調査ノ上警政部ヲ經由財政部ニ通知スベシ
第二十條 郵金受領人ニシテ若本條例第十二條第二項ノ事情アルトキハ轉發機關又ハ服務機關ヨリ之ヲ明カニ調査ノ上警政部ヲ經由財政部ニ通知スベシ

第二十一條

財政部ガ警政部ノ通知ヲ受理シタルトキハ直ニ郵金ノ支給ヲ停止スルコトヲ要シ本條例第十二條第一項ノ事情アルヲ除クノ外且轉發機關ヨリ前受領ノ郵金證書ヲ回收シ警政部ニ提出シテ之ヲ抹消スベシ
前項ノ第十二條第一項ノ事情アル郵金受領人ハ復權後ニ於テハ證明文書ヲ提出シテ原轉發機關ニ申請シ警政部ヲ經由財政部ニ通知スルコトヲ要シ而シテ復權シタル日ヨリ每期引續キ之ヲ支給スルコトヲ得

第二十二條

轉發機關ハ郵金證書ニ記載シタル年齢ニ依リ之ヲ計算ス郵金受領人ニシテ本條例第十四條第二項第三項ノ事情アルトキハ本年ノ郵金ヲ支給スルヲ除クノ外直ニ其ノ郵金證書ヲ回收シ警政部ニ提出シテ抹消ヲ爲サシメ且財政部ニ通知スベシ

第二十三條

本條例第十一、第十二、第十四ノ各條規定ニ依リ郵金受領人ノ權利喪失停止又ハ消滅シタルモ未ダ各責任機關ニ於テ之ヲ發見セズ其ノ後ニ於テ若之ヲ誤魔化シ他人ノ名義ヲカタルテ受領シタル事情アルコトヲ發見シタルトキハ轉發機關ヨリ他人ノ名義ヲカタリテ受領シタル金額及郵金證書ノ返還ヲ追求シテ警政部ニ報告財政部ニ移牒スルヲ除クノ外且法ニ依リ之ヲ懲罰ニ處スルモノトシ其ノ郵金證書ハ警政部ニ於テ之ヲ抹消ス

第二十四條

本條例第十五條ノ規定ニ依リ移轉シテ郵金ヲ受クベキト

キハ其ノ以前遺族ノ喪權又ハ死亡時ノ當地ノ警察若ハ自治機關ノ證明書及前受領ノ郵金證書ヲ轉發機關ニ提出シ警察部ニ移牒シテ抹消ヲ爲シ更ニ再交付ヲ受クベシ

第二十五條 警察官吏年郵金證書又ハ遺族年郵金證書ヲ遺失又ハ汚損シタルトキハ詳細理由ヲ述ベ且確實ナル證明書ヲ提出シテ轉發機關ヲ經由警察部ニ移牒シ再發又ハ書換ヲ請フコトヲ得

第二十六條 本條例第二十條ニ稱スル前在職ノ月數ハ民國元年ヨリ任ゼラレタル職務ヲ以テ限度トス

第二十七條 本細則ニ規定シタル各種ノ請郵事實表及郵金證書ハ別ニ之ヲ定ム

第二十八條 本細則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第一九四號
昭和十六年六月

警政公報抄（邦譯） 民國三十年四月十一日 第三十四號

興亞院華中連絡部

發送先

本院

華北運綫部次長

蒙疆、厦門各運綫部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

陸軍參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中文部派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

九〇

各

各

各

部部部部部部部部部部部部部部部部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

海軍上海事務所

東亞研究所

上海

東京

中華民國憲法研究會

各

各

各

各

部部部部部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉錄する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

縣警察局組織規程

(中華民國三十年三月二十日公布)

- 第一條 本規程ハ各級警察機關編制大綱第十四條ニ依リ之ヲ制定ス
- 第二條 縣警察局ハ各該省警務處ニ直屬シ且該管縣長ノ指揮監督ヲ受ケ全縣ノ警察事務ヲ處理ス
- 第三條 縣警察局ハ法令ニ抵觸セザル範圍内ニ於テ單行警察章程則ヲ發布スルコトヲ得但シ該管警務處ニ報告シ認可ヲ受ケ更ニ之ヲ警政部及省政府ニ移送シテ記録セシメ且該管縣政府ニ報告シテ調査ニ備フルコトヲ要ス
- 第四條 縣警察局ハ所屬職員ノ處分又ハ命令ニ對シ法令ニ違背シ法益ヲ妨害シ又ハ權限ヲ侵越セルモノト認ムルトキハ之ヲ停

1

2

- 第五條 縣警察局ニ局長一人ヲ置ク一等局ハ薦任トシ二、三等局ハ薦任待遇トス薦任ハ該管警務處ヨリ有資格者ヲ選拔シ警政部ニ申請シ審査ノ上之ヲ任命シ薦任待遇ハ該管警務處ヨリ有資格者ヲ選拔シテ之ヲ任命ス警政部ニ報告シ審査ノ上之ヲ記録シ且省政府ニ報告シテ調査ニ備フルモノトス
- 第六條 縣警察局ノ設置ハ三等ニ分ツ一等局ハ四課、二等局ハ三課、三等局ハ二課ヲ設ク三課ノ設ケナルトキハ左記第三課ノ事務ヲ第二課ニ合併シテ處理スルコトヲ得、二課ノ設ケナルトキハ左記第三課ノ事務ヲ第二課ニ合併シテ之ヲ處理スルコトヲ得、一課ノ外且左記第四課ノ事務ヲ第一課ニ合併シテ處理スルコトヲ得
- 第七條 第一課ノ掌理事務左ノ如シ

- 第八條 第二課ノ掌理事務左ノ如シ
- 一 治安及風俗ニ關スル事項
 - 二 交通ニ關スル事項
 - 三 消防ニ關スル事項
 - 四 衛生ニ關スル事項
 - 五 規則ノ制定ニ關スル事項
 - 六 人事ニ關スル事項
 - 七 訓育ニ關スル事項
 - 八 裝備ニ關スル事項
 - 九 文書及官印ニ關スル事項
 - 十 編纂及統計ニ關スル事項
 - 十一 會計及庶務ニ關スル事項
 - 十二 其ノ他各課ニ屬セザル事項

- 第九條 第三課ノ掌理事務左ノ如シ
- 一 審査訊問ニ關スル事項
 - 二 探偵捕縛ニ關スル事項
 - 三 鑑識ニ關スル事項
 - 四 其ノ他司法警察ニ關スル事項
- 第十條 第四課ノ掌理事務左ノ如シ
- 一 勤務ノ督察ニ關スル事項
 - 二 臨時命令ノ検査ニ關スル事項
 - 三 長官ノ特別交付ニ關スル事項
- 第十一條 縣警察局ノ各課ニ各課長一人、課員若干人ヲ置ク

第十二條 縣警察局長ハ該管區域ニ警察所、警察分駐所、警察派出所

ヲ分設シ區ヲ劃シテ職責ヲ分擔スベシ

警察所ニ所長一人、所員、巡官各若干人ヲ置ク

第十三條 縣警察局長及警察所ハ事務上ノ必要ニ因リ適宜雇員ヲ置ク
コトヲ得

第十四條 所長ハ省警務處ヨリ有資格者ヲ選拔シテ之ヲ任命シ又ハ

該管局長ヨリ人員ヲ選拔シ之ヲ申請シテ任命ス

課長、課員、所員、巡官ハ局長ヨリ有資格者ヲ選拔シ該管警
務處ニ申請シ審査ノ上之ヲ任命ス

雇員ハ局長、所長之ヲ任命ス

前項ノ課長、課員、所員、巡官、雇員ノ定員ハ該管警察處ヨ
リ實際ノ必用ニ應シ之ヲ決定シ警政部ニ報告シテ記録セシメ
且省政府ニ報告シ及該管縣政府ニ命ジテ調査ニ備フルモノト

ス

第十五條 縣警察局長ハ治安維持及業務ノ必要ニ因リ警察隊、消防隊、

偵緝隊、水巡隊ヲ設クルコトヲ得但シ二、三等局ナルトキハ

警察隊及水巡隊ヲ以テ限度トス

前項各隊ノ組織ハ實際ノ必要ニ依リ局長ニ於テ協議シ該管警
務處ニ申請シ査定ノ上警政部ニ移牒シテ記録セシメ且省政府

ニ報告シ及該管縣政府ニ命ジテ調査ニ備フルモノトス

第十六條 縣警察局長ノ管轄スル警察所、分駐所、派出所ノ設置及廢
止合併ハ該管警務處ニ申請シテ之ヲ決定スベシ

第十七條 縣警察局長及警察所ノ辦事細則ハ局長ニ於テ制定シ該管警務
處ニ申請シテ之ヲ決定ス

第十八條 縣警察局長ノ等級ハ該管警務處ヨリ警政部ニ申請シテ之ヲ
決定ス

第十九條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

華中調查速報第一九五號
昭和十六年六月

工商公報抄（邦譯）

民國三十年五月十五日

第二十七號

興亞院華中連絡部

163

REEL No. A-0280

00000

アジア歴史資料センター

發送先

本院

華北連絡部次長

蒙疆、厦門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集國參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

九〇

各

各

各

部部部部部部部部部部部部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各日本總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滬鏡上海事務所

東亞研究所 上海 東京

中華民國法制研究會

各

各

各

部部部部部部部部部部部部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉錄する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるものゝみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

工商部商品檢驗局檢驗費額表

(中華民國三十年四月二十五日公布
中華民國三十年五月一日施行)

蠶絲検査種類

商 品 名 稱	數 量 單 位	檢 查 費	備 考	生 公			
				白 廠 絲	黃 廠 絲		
白廠絲 (工場ニ於テツムギタル)	一 包	四〇〇元		川魯白絲 (四川省、山東省ノ白色絲)	一 包	二〇〇	1
黃廠絲 (工場ニ於テツムギタル)	一 包	四〇〇		輯里絲 (不規則ニツムギタル絲)	一 包	二〇〇	1
川魯黃絲 (四川省、山東省ノ黃色絲)	一 包	二〇〇					
白蠶繭 (最悪ノツムギタル絲)	一 包	二〇〇					2
淨 量 (正味量)	一 包	二〇〇					
除 膠 (湖除キ)	每 同	三〇〇					
品 質	六件以上十件以下 一口トシタルトキハ 毎口十五元トス						
普通蠶種原種	十 枚	〇 四					

原蠶種へ最近相場
ク之ガ必要アルトキ
更ニ検査費ヲ決定ス

農作物検査種類

紅 茶	百 疋	三三	
綠 茶	百 疋	三三	
磚 茶 (紅茶又ハ綠茶ノ粉末ヲ蒸シ機 械ニテ壓シ煉瓦狀トナシタモノ)	百 疋	二四	

茶末(粉茶)	百 疋	元 一 二	
茶片(大キイ葉ヲ以テ製シタル茶)	百 疋	一 二	
茶梗(莖茶)	百 疋	一 二	
毛茶(粗製品)	百 疋	一 二	
棉花(綿花)	百 疋	二 〇	
菸葉菸絲(葉煙草、キザミ煙草)	百 疋	二 〇	
花生仁(落花生實)	百 疋	一 〇	
花生餅(落花生ヨリ油ヲ搾リタル搾粕)	百 疋	〇 四	
花生(落花生ノ未脱皮)	百 疋	〇 八	
核桃仁(クルミノ實)	百 疋	二 八	
核 桃(クルミ)	百 疋	一 八	
杏 仁(杏ノ實)	百 疋	元 三 二	
桂 皮	百 疋	一 四	
蕨 類(麻類)	百 疋	二 〇	
豆 類	百 疋	〇 六	
芝 蔴(胡 蔴)	百 疋	一 〇	
罐頭食品(罐詰食品)	百 罐	一 二	罐詰肉除外

化學工業品検査種類

桐油	百 元 三 四
亞麻油 <small>（又ハ椿ノ油）</small> 蘇麻油 <small>（又ハ桐ノ油）</small> 茶油 <small>（又ハ桐ノ油）</small> 胡麻油 <small>（又ハ桐ノ油）</small>	百 元 一 四
花生油（落花生油）	百 元 二 四
菜子油、棉子油（菜種油、綿ノ種子油）	百 元 一 四
多ウハ油	百 元 一 四
人造肥料	百 元 一 八
酒 精	十リットル 〇 二
骨及骨粉	百 元 〇 四
麥粉	百 元 〇 八
糖 品（菓子類）	百 元 〇 六

東亞局長		月	日	附	昭和拾六年七月廿日	接
第一課						
華中支隊司令部						
摘要		華中支隊司令部 第五五〇〇 不足分送付				
摘要		169				



分類 A. 1. 0. 31-1

華中調査速報第一九五號
昭和十六年六月

不足分送付及リ也

工商公報抄(邦譯) 民國三十年五月十五日 第二十七號

興亞院華中連絡部

170

REEL No. A-0280



アジア歴史資料センター

發送先

本院

華北連絡部次長

蔡彊、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、廣東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團總參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

九〇部

二部

二部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滿鐵上海事務所

東亞研究所

中華民國法制研究會

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

各部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の掲載を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を轉載する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるゝものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを掲載す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯、編輯に係る

工商部商品檢驗局檢驗費額表

(中華民國三十年四月二十五日公布)
 (中華民國三十年五月一日施行)

蠶絲検査種類

商 品 名 稱	數 量 單 位	檢 查 費	備 考	生 公	
				量	品
白廠絲 (工場ニ於テツムギタル白 色 絲)	一 包	四〇〇元		白 淨	1
黃廠絲 (工場ニ於テツムギタル 黄 色 絲)	一 包	四〇〇		除 淨	1
川魯黃絲 (四川省、山東省ノ黃色絲)	一 包	二〇〇		品 質	2
川魯白絲 (四川省、山東省ノ白色絲)	一 包	二〇〇		普 通	2
韓里絲 (不規則ニツムギタル絲)	一 包	二〇〇		蠶 種	2
白濞經 (最悪ノツムギタル絲)	一 包	二〇〇		原 種	2
除 膠 (糊除キ)	每 回	三〇〇		種 類	2
品 質	六件以上十件以下 一ロトシタルトキハ 一ロトシタルトキハ 一ロトシタルトキハ	每口三十元、 五件以下		十 枚	2
普 通	原 種	〇 四	原蠶種ハ最近相場 ク之ガ必要アルトキ 更ニ検査費ヲ決定 ス		

農作物検査種類

紅 茶	百 斤	三三	
綠 茶	百 斤	三三	
磚 茶 (紅茶又ハ綠茶ノ粉末ヲ蒸シ機 械ニテ壓シ煉瓦狀トナシタモノ)	百 斤	二四	

茶末(粉茶)	百	元	一二	
茶片(大キイ葉ヲ以テ製シタル茶)	百		一二	
茶梗(莖茶)	百		一二	
毛茶(粗製品)	百		一二	
棉花(綿花)	百		二〇	
菸葉菸絲(葉煙草、キザミ煙草)	百		二〇	
花生仁(落花生實)	百		一〇	
花生餅(落花生ヨリ油ヲ搾リタル搾糟)	百		〇四	
花生(落花生ノ未脫皮)	百		〇八	
核桃仁(クルミノ實)	百		二八	
核桃(クルミ)	百		一八	
杏仁(杏ノ實)	百	元	三二	
桂皮	百		一四	
蕪類(麻類)	百		三〇	
豆類	百		〇六	
芝麻(胡麻)	百		二〇	
罐頭食品(罐詰食品)	百		一二	罐詰肉除外

4

3

化學工業品検査種類

桐油	百 元 三 四	6
亞麻油、ヒマシ油、草麻油、茶油 <small>茶又ハ糖ノ製セル油</small>	百 元 一 四	5
花生油（落花生油）	百 元 二 四	
菜子油、棉子油（菜種油、綿ノ種子油）	百 元 一 四	
多ウハ油	百 元 二 四	
人造肥料	百 元 一 八	
酒 精	十リトル 〇 二	
骨及骨粉	百 元 〇 四	
麥 粉	百 元 〇 八	
糖 品（菓子類）	百 元 〇 六	

華中調查速報第一九六號
昭和十六年六月

安徽省公報抄（邦譯） 民國三十年一月份 第二十五期

興亞院華中連絡部

176 176

REEL No. A-0280

0036

アジア歴史資料センター

發送先

本院

華北連絡部次長

蔡彊、廈門各連絡部長官

青島出張所長

漢口、濟東、南京、各派遣員事務所長

陸軍參謀次長

支那派遣軍總參謀長

登集團總參謀長

支那派遣軍總司令部報道部長

中支那派遣憲兵隊司令官

上海憲兵隊長

特務機關本部長

上海、南京、蘇州、杭州、泰縣、蚌埠、安慶、寧波、特務機關長

九〇部

二部

二部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

漢口陸軍特務部長

支那方面艦隊參謀長

上海方面海軍根據地隊司令官

海軍上海駐在武官長

第一海軍經理部長

支那方面艦隊報道部長

漢口海軍特務部長

在南京大使館

在上海、南京、漢口、各總領事

杭州、九江、蘇州、蕪湖、各副領事

外務省大臣官房文書課

滿鐵上海事務所

東亞研究所

中華民國法制研究會

各

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

一部

凡 例

- 一 本輯の名稱を華中調査速報とす
- 一 調査速報には國民政府公報及各院、部公報並に江蘇、浙江、安徽、の各省公報及南京、上海兩市公報の邦譯を掲載す
- 一 調査速報の内容は法規に屬するものは原則として全部之を輯録する方針なるも特に速報する價值僅少なりと認めらるるものは翻譯を省略又訓令以下は重要なるもののみを摘録す
- 一 調査速報は元來華中調査資料として編輯すべきものなるも速急に報告するを適當と認め「速報」とす
- 一 調査速報は華中連絡部政務局の翻譯・編輯に係る

安徽省各縣政府組織暫行規程

第一條 本規程ハ中華民國十九年七月七日修正縣組織法第十六條

第二項ノ局ヲ科ニ改ムル規定ニ依リ之ヲ制定ス

但シ科ヲ廢シテ局ニ改ムル必要アルトキハ同法第十六條第一項ノ規定ニ依リ主管廳處ヨリ省政府ニ申請シ委員會議ニ提出シ議決ヲ經テ之ヲ恢復スルコトヲ得

第二條 縣政府ニ縣長一人ヲ置キ主席及各廳處長ノ監督指揮ヲ受

ケ縣政ヲ綜理シ且所屬各機關及職員ヲ監督指揮ス

第三條 縣政府ニ秘書一人ヲ置キ縣長ヲ輔佐シテ左記事項ヲ掌理ス

一 機密文書ノ起案及縣政府會議ノ記錄ニ關スル事項

二 文書ノ審査及分配ニ關スル事項

三 成績考査ニ關スル事項

四 官印ノ保管ニ關スル事項

五 文書ノ收發、淨書、照合及記錄管理ニ關スル事項

六 會計、庶務ニ關スル事項

七 每月行政報告ノ編製ニ關スル事項

八 電報ノ翻譯、發送及宣傳ニ關スル事項

九 縣長ヨリ交付ノ處理ニ關スル事項

十 其ノ他各科ニ屬セザル事項

第四條 縣政府ニ四科ヲ置キ各科ニ科長一人ヲ置キ縣長ヲ輔佐シ

テ各科ノ事項ヲ分掌ス

(一) 第一科ハ左記各事項ヲ掌理ス

一 行政計劃ニ關スル事項

二 地方自治ノ處理及保甲編製ニ關スル事項

- 三 地方保安及防共自衛團ニ關スル事項
 - 四 公共衛生及土地行政ニ關スル事項
 - 五 人民生計ノ救恤、慈善、災害救助及社會救済ニ關スル事項
 - 六 糧米貯藏及民食調節ニ關スル事項
 - 七 禁煙ニ關スル事項
 - 八 集會、結社及出版ニ關スル事項
 - 九 風俗、宗教、禮制、公共墓地及名勝古蹟、古物ノ保存並ニ文獻ノ徵集ニ關スル事項
 - 十 各種統計ノ調査、編製及報告ニ關スル事項
- (二)
- 一 全縣財政ノ豫算、決算ニ關スル事項
 - 二 省地方ノ租稅徵收及送金ニ關スル事項

3

- 三 縣地方ノ各項附加稅徵收ニ關スル事項
- 四 中央及本省ノ公債募集及返済並ニ利息支拂ニ關スル事項
- 五 屯衛墾荒(屯田スル)及升科(礦山ヲ開キ又ハ荒地ヲ開墾スルモノハ許可ノ後一定ノ年限ヲ過グレバ登記ヲナサシメ租稅ヲ徵收スルヲ云フ)ニ關スル事項
- 六 公産、公金ノ清算及保管ニ關スル事項
- 七 地租ノ整頓ニ關スル事項
- 八 納稅受取證、證據書類及文書表冊ノ保管ニ關スル事項
- 九 省、縣稅金ノ徵收、送金及收支引繼ニ關スル事項
- 十 租稅訴願ニ關スル事項
- 十一 社會金融ノ調整及各種合作社事務ノ調査ニ關スル事項

4

項

十二 其ノ他一切ノ財政ニ關スル事項

(三) 第三科ハ左記各事項ヲ掌理ス

一 縣立ノ各種各級學校及各社會教育機關ノ設立計劃、管理並ニ主任人員ノ任免ニ關スル事項

二 義務教育及普通教育ノ普及ニ關スル事項

三 學齡兒童及失學民衆ノ調査ニ關スル事項

四 私立各級學校ノ管理及私塾ノ改革、取締ニ關スル事項

五 職業教育、生産教育及體育衛生ノ實施、發展ニ關スル事項

六 社會組織及人民生活ノ指導、改革、進行ニ關スル事項

七 文化事業ノ提倡及學術、技術ノ奨励ニ關スル事項

八 教員ノ訓練及地方教育ノ指導補助ニ關スル事項

九 學校處理人員ノ成績考査及賞罰ニ關スル事項

十 教育經費豫算、決算ノ編製ニ關スル事項

十一 教育財産及教育經費ノ清算ニ關スル事項

十二 其ノ他教育行政ニ關スル事項

(四) 第四科ハ左記各事項ヲ掌理ス

一 道路、航空、電氣一切ノ交通ニ關スル事項

二 農林、養蠶、漁業、牧畜ニ關スル事項

三 農村經濟及農村ノ調査改良ニ關スル事項

四 水利ノ振興改革ニ關スル事項

五 工商鑛業ニ關スル事項

六 農、工、商、鑛業ノ各團體ニ關スル事項

- 七 度量衡ニ關スル事項
 - 八 各種合作社ノ設立計劃及整理ニ關スル事項
 - 九 市政ノ整理、燃料、飲料ノ設備及公共衛生、防疫等ニ關スル事項
 - 十 建設事業ノ設計ニ關スル事項
 - 十一 建設經費豫算、決算ノ編製ニ關スル事項
 - 十二 其ノ他一切ノ建設ニ關スル事項
- 第五條 縣政府ニ科員四人乃至八人、事務員四人乃至八人、書記若干人ヲ置キ縣長ノ命ヲ承ケ且各主管長官ノ監督指揮ヲ受ケ各別ニ各項事務及淨書事項ヲ處理ス
- 第六條 縣政府ニ督學、技士各一人ヲ置キ縣長ノ命ヲ承ケ且主管科長ノ監督指揮ヲ受ケ各別ニ教育建設事項ヲ處理スルコトヲ得

- 第七條 縣政府ニ政務警察ヲ置キ徵收、送達ノ督促及偵査、逮捕調査等ノ事務ヲ處理スルコトヲ得其ノ定員ハ民政廳ニ申請シテ之ヲ決定ス但シ多クテ二十人ヲ超ユルコトヲ得ズ
- 第八條 縣政府ノ秘書、科長及督學、技士ハ縣長ヨリ有資格者ヲ選拔シ各別ニ各主管廳ニ申請シテ之ヲ任命シ且省政府ニ移牒シテ記録セシム
- 科員、事務員及書記ハ縣長ヨリ有資格者ヲ選拔シテ之ヲ任命シ民政廳ニ移牒シテ記録セシム
- 第九條 縣政府ノ秘書、科長及以下ノ職員ハ總テ縣佐治人員ト稱ス其ノ資格標準ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 縣政府ノ職員定數ハ民政廳ヲ經由省政府ニ申請シ許可ヲ經ルモノニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ
- 職員俸給及等級ハ別表ニ之ヲ定ム

第十一條 縣ノ警察事務ハ中央ノ規定ニ依リ之ヲ組織ス
第十二條 縣政府ハ其ノ狀況ニ應ジ適宜經征處(租稅徵收所)ヲ設
立シ縣長及主管科ノ指揮ヲ受ケ租稅徵收ヲ處理スルコトヲ得
其ノ組織ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 縣政府ハ財政廳ヨリ縣金庫代理ヲ指定シテ縣金庫ノ收支
事項ヲ掌理スルコトヲ要シ之ヲ他用ニ充ツルコトヲ得ズ

第十四條 縣長ハ本縣法院ノ未成立前ニ在リテハ原定法規ニ依リ暫
時司法兼理ヲ行フコトヲ得

第十五條 縣政府ハ行政能率ヲ増進スル目的ヲ以テ縣行政會議ヲ設
クルコトヲ得

左記人員ニヨリ之ヲ組織ス會議ノトキハ縣長ヲ以テ主席ト爲
ス

一 縣長

- 二 秘書
 - 三 各科長
 - 四 局ノ設ケアルトキハ局長
 - 五 督學
 - 六 技士
 - 七 警察局長又ハ所長
 - 八 各區長
 - 九 縣長ノ特別指定者
- 縣政會議規則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十六條 縣政府辦事細則ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十七條 本規程ニ未ダ盡サザルノ事項アルトキハ隨時省政府委員
會會議ニ提出シテ之ヲ修正スルコトヲ得
- 第十八條 本規程ハ省政府委員會會議ノ決議ヲ經テ之ヲ公布施行ス

(分類 41193/1)

摘要	期 日
<p>華中調査連報 華中調査資料 カハリンカイトナシ</p>	<p>昭和拾六年七月廿三日接受 附屬</p>

東亞局長

第一課



184



華中調査資料第一〇九號

昭和十六年二月

中華民國公文提要

興亞院華中連絡部

185

REEL No. A-0280

0045

アジア歴史資料センター

ウ

ウ

凡例

- 一 本資料ハ興亞院華中連絡部ノ業務參考資料トシテ作成ス
- 一 本資料ノ調査者ハ興亞院通譯生植村修平ナリ
- 一 本資料ノ例題ハ中華民國政府公報、滿洲國政府公報及杉武夫著支那語講座中ノ事變前國民政府公文例等ヨリ引用ス

凡例



目 録

第一篇 公文常識

第一章 公文ノ分類

1 上行文

2 平行文

3 下行文

第二章 公文ノ構成

1 起首段

2 依據段

3 引申段

4 歸結段

第三章 公文用語ノ分類

目 録

目 録



第二篇 公文ノ例題

1	呈文例	四〇
2	咨文例	四七
3	公函例	五二
目録		
5	歸結段	一一
6	附件語	一五
7	呼稱語	一五
8	結尾語	一六
9	案ニ就イテ	二一
二、分類乙		
(字畫上ヨリノ分類)		
第五章 公文ニ於ケル簡略語		
		三三

目録

1	前由用語	三
2	起首段	三
3	依據段	三
4	引申段	三
5	歸結段	三
6	附件語	三
7	其ノ他	三
第四章 公文用語ノ解釋		
一、分類甲		
1	前由語	四
2	起首段	四
3	依據段	七
4	引申段	一〇



目録	四
4 訓令文例	五七
5 指令文例	六二
6 批文例	六六
7 佈告文例	六九
附録	
1 中國省名異稱	七五
2 中國省名略稱	七六
3 中國主要地名異稱	七七
4 四季ノ略名	七九
5 月ノ異名	八〇
6 時ノ異稱	八一
7 中國各種號碼	八二
8 中國公文處理順序及ビ文書用語	八二

中華民國公文提要

第一篇 公文常識

第一章 公文ノ分類

公文ハ形式上 上行文、平行文、下行文ノ三種ニ分ツ

一、上行文

下級官署ヨリ上級官署へ、一般人民ヨリ一般官署へノ時此ノ形式ヲ用フ

呈文ハ之ニ屬ス

二、平行文

同級官署相互間ノ場合此ノ形式ヲ用フ

公函及尋文ハ之ニ屬ス

三、下行文

上級官署ヨリ下級官署へ、或ハ一般官署ヨリ一般人民へノ時此ノ形式ヲ用フ

佈告(公衆ニ對シ) 勅令(官吏ニ對シ) 勅令(勅令)

第一篇 公文常識 第二章 公文ノ分類



第二章 公文常識 第二章 公文ノ構成
 四、(部屬官署ニ對シ指揮命令)
 指令(部屬官署ヨリノ陳述、報告、請願ニ對シ指示)
 批(人民ノ請願又ハ陳情ニ對シ指示)
 各種令等之ニ屬ス

第二章 公文ノ構成

詩作ニ起承轉結アル如ク、公文ハ一定ノ原則ニヨリテ構成シ、首尾ノ一貫ヲナス
 一、起首段
 公文ノ冒頭ニ大意目的ヲ總括的ニ記述シ、標題的性質ヲ含マシメ、受文者ヲシテ一見種類要求ヲ知ラシム
 二、依據段
 公文ハ必ず理由、根據ヲ有ス、本段ハ其根據トナス
 法令、前例、來文、理論、事實等スベテ證據ヲ叙述ス
 三、引申段
 依據段ニ配セル根據ニ依リ意見、要求ヲ叙述ス
 全文ノ主位ナリ

四、轉結段
 引申段ニ論議セシ處ニ處置、辦法ヲ明示シ以テ全文ノ結論ヲナス
 全テ公文ハ二三特殊(上諭、任命狀、解任狀、指叙令)ノモノヲ除キ、皆右各段ノ順序ニ從ヒ記述サレ、何レモ一定ノ慣用語句ニ收束サルヲ以テ容易ニ把握サル、モノナリ

第三章 公文用語ノ分類

公文ヲ構成スル慣用語句ハ配述順位ニ從ヒ次ノ如ク分類ス
 一、前出用語 (指令、批、袖書ニシテ發送ノ理由ヲ示ス)
 二、起首段
 1 起首用語(公文ノ種類目的ヲ示ス)
 2 來文引用語(公文中ノ一切根據タルベキ事實ヲ引用ニ用フ)
 3 公文到達語(公文ノ到達ヲ示ス)
 4 承上轉下語(引用セル根據ヲマトメ次段ニ接続セシム)
 5 意見叙述語(議論ノ發端語、抑々ノ意ナリ)
 6 經過叙述語(事件處理ノ情況ヲ叙述ス)
 7 實 據 語(自己ノ意見、議論ニ關シ先方ノ意見ヲ求ム)
 8 總 括 語(引申ヲ總括シテ先結ニ導ク)

第二章 公文常識 第三章 公文用語ノ分類

- 第一編 公文書類 第四章 公文用語ノ解釋
- 9 附言語(事件ニ關係關係アル事由、引申ト歸結ノ接續)
 - 10 收束語(全文ノ總括ヲナス、處理方法明示ス)
 - 11 請求語(受文者ニ對シ希望、期待ヲ述ブ)
 - 12 結尾語(希望、期待ノ内容ニシテ最も繁多難解ナリ)
 - 13 注意語(右内容ニ對スル發文者ノ關心ヲ示ス、結文ノ接續)
 - 14 追加語(特殊ノ事由ヲ正文ニ附帶的ニ追加)
 - 15 附存在置語(送附或ハ添付物件ノ處理ヲ示ス)
 - 16 末尾語(最終ノ結文用語ナリ)
 - 六、附件語(特ニ受文者ニ注意サステ、正文外ニ添付物アリト示ス)
 - 七、其ノ他 呼稱語(相手ノ階級ニ依リ公文上ノ代名詞ハ異ナル)
- 簡略語(公文ハ簡捷ノタメ簡略語多シ)

第四章 公文用語ノ解釋

一、分類 甲

公文用語(一定ノ慣用形式ヲ用ヒ上行、平行、下行ニ依リ種々變化スルモノデアル)

左ニ上行、平行、下行ニ分テ基本形式ヲ分類解釋シテ見ヨウ

一、勅諭語

勅諭語ハ指令、批文ニ用ヒ正文外初行ニ記述ス

「第一件」由「……………」ノ件

「第二件」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「……………」由「……………」ノ件

「吾爲……事」

「爲客……事」

「……助筆」發電ノ起首

「……公鑒」同

「某電敬悉」返電ノ起首

○公函

「逕啓者」拜啓

「逕覆者」拜復

其他「逕函者」「謹啓者」「謹覆者」「敬啓者」「敬覆者」等

「敬悉」是「來文ノ趣旨了セリ」

「具悉一切」同

「某電隨悉」返電同

○訓令

「爲令……事」

○指令

「……悉」ハ閱了ス

「呈……均悉」呈……ハ何レモ閱了ス

「呈及……均悉」呈及……ハ何レモ閱了ス

○批

「……悉」ハ閱了ス

「據……已悉」……ニ據リ已ニ閱了ス

○佈告

「爲……事」

「案照……」抑々夫レノ意

「查……」同

三 依據條

2 來文引用語

「上級官署……リノ來文引用」

「奉……令内載……等因」……ノ令ヲ奉ズルニ記載シテ曰ク……ト

「奉……令内開……等因」……ノ令ヲ奉シタルニ曰ク……ト

「……内開……及……各等因」曰ク……及ビ……云々ト



第一編 公文書編 第四章 公文用語ノ種類
同級官署ヨリノ來文引用

○存
「准」者「因」等因(由)

○公函
「准」函開(稱)等因(由)

「准」電稱等由……ノ電文ヲ受ケタルニ曰ク……ト
「准」電稱等由……ノ電文ヲ受ケタルニ曰ク……ト

「准」呈稱等情 下級ヨリノ呈文ヲ引用

「據」呈稱等語 下級ヨリノ非公式又ハ口頭ニヨル引用

「據」開等語 法律書類又ハ第三者ヨリノ來文引用

「到」到達語

「到」到來語

「到」到來語

「到」到來語(轉送ノタメ通過セリ)

「到」到來語(去後ナル文字ニ隣接ナル)

4 上級下級語

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

「奉」奉命等語 前記ノ如キ命ヲ奉ジタルニ依リ

第一編 公文書編 第四章 公文用語ノ種類



四、引寄せ

5 意見叙述語

上行文

「竊……」 虚字ナリ「夫」抑モノ意

「竊維」「竊按」「竊查……」

「查……」上、平、下行共ニ用フ

平行文、下行文

「查……」

「案查……」前ヨリ繁複スル時用フ

「技……」

「照得……」 佈告ニ用フ

「案照……」 同

6 經過叙述語

上行、平行、下行ノ區別ナシ

「經……在案」

7 質疑語

上行文、平行文

「應如何……之處」「如何……スヘキヤノ處」

「可否……スヘキヤ否ノ處」

「應否……」「……スヘキヤ否ヤ」

「是否可行」「是否有當」

下行文

「究竟是何情形」 結局如何ナル情形ナリヤ

8 總括語

「所有……緣由」「切ノ……事由」

「所有……情形」「切ノ……情形ハ」

下行文、原則上「前詳後略」ナル故本語ヲ用ヒズ

9 附言語

「除……外」

五、歸納語

10 收束語

上行文

第一編 公文書論 第四章 公文用語ノ解釋

「適合」……「茲」……スベシ

「爲此」……「依テ」……スベシ

「敬啓」

「相應」……「當」……スベシ

「爲此」……「特」……ス

「特此」……「特」……ス

「爲」……「當」……スベシ

「爲」……「行」……「行文」ノ意ナリ

11 請求語

「爲此」……「特」……ス

「爲此」……「特」……ス

「爲此」……「特」……ス

「爲此」……「特」……ス

「爲此」……「特」……ス

「爲此」……「特」……ス

平行文

「希」……「希フ」

「祈」……「祈ル」

下行文

「仰」……「其旨」……スベシ

「奉」……「ハ」……スベシ

12 結尾語

「核辦施行」「查照」「准豫備案」ノ如キ慣用句(八、結尾語参照)

13 注意語

「實爲德便」「爲荷」「可也」ノ如キ慣用句

14 追加語

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

平行文

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」

「再」……「併」……「陳明ス」



下行文

15 再...合併通知 更...ヲ併セテ告知ス
附件存送之陪...指令、批ノ末尾ニ用フ

「附件存」 附件ハ存置ス
「表冊存」 表冊ハ存置ス

16 末尾附... 附件ハ返還ス
「附件發還」 附件ハ返還ス

上行文

「謹呈」...「謹以奉聞」
「此致」...「此致」

「須至」者 榜示、護照、外交文書ノ末文ニ用フ
「此令」... 訓令、指令ニ之ヲ用フ

「此批」... 批ニ用フ
「此佈」... 佈告ニ用フ

「此諭」... 指令發給ニ用フ
「即即公布」 各令ヲ公布スルニ用フ

上行文

「計呈」... 添付物
「計呈」... 添付書類

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同

「計呈」... 添付物
「計呈」... 同



「屬」同

「對稱」同

本行文

自稱「本」

「職」同

「敬」同

對稱「大」

「貴」

「貴」

下行文

自稱「本」

對稱「該」

「爾等」

八 結尾語

上行文

「核辦施行」 審査處理ノ上施行セラレシト(ラレ)

「核轉施行」 審査ノ上轉令(ラレ)

「核奉施行」 審査ノ上決裁アリ(タキテ)

「鈞奉施行」 御決裁アル(ラレ)

「鑒核施行」 清覽ノ上審査アリ(ラレ)

「鑒核備案」 清覽ノ上審査アリテ備案(ラレ)

「鑒核示達」 清覽ノ上審査シテ達奉スル所ヲ示(サレ)

「賜復示達」 同示ヲ賜ハリ達奉スル所ヲ指示(サレ)

「核示遵行」 審査ノ上指示アリテ遵奉セシメ(ラレ)

「指令遵行」 指令ヲ以テ遵奉セシメ(ラレ)

「令示遵行」 令示アリテ遵奉セシメ(ラレ)

「准據照辦」 照辦ヲ許可(セラレ)

「從寬免議」 寬容ヲ以テ免議セラレシト(ラレ)

平行文

「查照」 調査ノ上依照施行即チ了承ノ意

「查照辦理」 查照ノ上處理

「本照公布」 本照ノ上公布
 「本照施行」 奉准ノ上處理
 「查明見覆」 詳細調査ノ上回答セラレ(度)
 「核覆施行」 奉准ノ上回答アリ(度)
 「見示施行」 回答アリ(度)
 下行文

○訓令
 「令仰知照」 了知スベシ
 「令仰遵照」 依照シテ遵フベシ
 「即便知照」 速宜了知セヨ
 「即便遵照」 速宜了知セヨ
 「以張核辦」 奉准辦理スルニ便ナラシメヨ(回答ヲ要求スル)
 「轉飭遵照」 轉令シテ遵照セシメヨ
 「審御標準」 嚴守スベシ
 「定期具覆」 期日ヲ定メテ回答セヨ
 「呈報備查」 報告シテ調査ニ資セヨ

○指示及批
 「查明核奪」 詳細ニ調査報告シテ奉准決定ヲ得ヨ
 甲、許可スル場合ノ結尾語

「應准備案」 備案ヲ許可スベシ
 「應予照准」 請願通り認可ヲ與フベシ
 「應予准行」 施行スルコトヲ許可スベシ
 「准予備案」 調査ノタメ受進スルコトヲ許可ス
 「准如所請」 請願ノ如ク許可ス
 「尙屬可行」 尙施行スベキニ屬ス
 「尙無不合」 尙合理ナリ
 「自屬准行」 當然處理施行スベキナリ
 「姑准施行」 暫時施行スルヲ許ス
 「已交其機關審查」 已ニ其機關ニ交付シテ審查セシム
 乙、不許可ノ場合ノ結尾語
 「未便准行」 施行ヲ許スニ便ナラス(シ難シ)
 「未便照准」 (請求ノ通ニ) 認可スルニ便ナラス(シ難シ)



- 「萬難照准」 斷ジテ(請求ノ如ク)認可シ難シ
- 「邊難照准」 俄カニ(請求ノ如ク)認可シ難シ
- 「殊難照准」 特ニ(請求ノ如ク)認可シ難シ
- 「礙難照准」 障害アルヲ以テ(請求ノ如ク)許可シ難シ
- 「著勿庸議」 證議スル勿レ
- 「毋庸置議」 論議スル勿レ
- 「應毋庸議」 證議スル勿レ
- 丙、暫時不許可ノ場合ノ結尾語
 - 「所請暫勿庸議」 請願ノ件ハ暫時證議スル勿レ
 - 「所請應從緩議」 請願ノ件ハ追テ議スベシ
 - 「候察案查核」 案ヲ繕メテ審査スルヲ待テ
 - 「候令某機關查核飭違」 某機關ヲシテ審査發令セシムル迄待テ
 - 丁、再呈ヲ命ズル場合ノ結尾語
 - 「呈候核奪」 呈シテ審査決定アルヲ待テ
 - 「具報備查」 參考ノタメ報告ヲ提出セヨ
- 「仰再詳細呈明」 是ニ詳細ナル報告ヲナスベシ
- 戊、却下スル場合ノ結尾語

- 「殊屬不合特斥」 殊ニ不合理ナリ特ニ却下ス
- 「嚴加申斥」 嚴重ニ譴責シテ却下ス
- 「殊屬非是」 殊ニ正シカラズ
- 「毋再率演」 再ビ輕々ニ訴ヘテ煩ハス勿レ
- 「殊荒謬已極特斥」 殊ニ謬已ノ極ナリ特ニ却下ス

○佈告

- 「一體知照」 全體了知(スベシ)
- 「一體周知」 全體周ク承知(スベシ)
- 「一律遵照」 全體遵奉(セヨ)
- 「仰衆週知」 衆週ク承知(セヨ)
- 「咸使聞知」 皆聞知(セヨ)
- 「仰商民人等知照」 商民全體了知(セヨ)

九、案ニ就イテ

1「立案」……自己ノ財産ナドヲ官カラ保證セラル、ヤウニスル、又官ノ認可ヲ請フ、案ヲ具ス、案ヲ

起ス

2「在案」……記録ニ存シ置ケルノ意、取扱濟、凡テ事ノ完了セル意、立案シテシヤフ、濟ミナリ、多

- ク前ニ「業經」等ヲ伴ナヒ「業經」在案「ハ」ステニ「セリ」如ク用ヒラル
- 3「備案」……成案トシテ備ヘ置ク、事件ノ参考トスルノ意、又承知セシメ置クノ意、登録スル、記録
干配ス、受理ス、「准予備案」……受理スル。
- 4「存案」……事件ヲ記録シテ置ク、「控ヘテ殘シテ置ク」、「一件書類ヲ貯ヘ置ク」ノ記録ニ留ム、記
録スル
- 5「有案」……在案ト意味同ジナルモ叙述スベキ原文ガ長過ギテ其大略ヲ短ク省略シテ述ベ「其ノ件
ニ關シテハ既ニ左様手續ヲ完了セリ」ノ意ヲ表ハス場合ニ用フ
「曾經呈准有案」……曾テ呈准ヲ經タル事案アリノ如シ
「有案可扱」……引證スベキ事件ノ例アリノ意
- 6「查照在案」……既ニ御承知ノ旨
- 7「留案」……官署ノ記録ニ止メル
- 8「完案」……裁判事件ガ片付ク
- 9「成案」……判決例、先例
- 10「呈案」……書類ヲ法廷ニ呈出ス
- 11「問案」……裁判スル
- 12「文案」……起稿サレル公文書

- 13「控案」……官署ノ案文書、官署ノ記録
- 14「歸檔存案」……記録ニ止メ保存スル
- 15「命案」……殺人事件
- 16「疑案」……疑獄

二、分類 乙

(字彙上ヨリノ分類)

前述ノ如キ公文用語ヲ頭字ノ畫數ニ依ツテ左ニ再ヒ排列分類シテ述ボウ

- 一、畫
 - 「一體知照」……布告文結尾用語、總ヘテ人々ニ知ラシメル意
 - 「一體週知」……布告文結尾用語、人々心得ベシノ意
- 二、畫
 - 「大」……直屬セヌ上級ニ對スル尊稱、大部長
 - 「下」……下級官署ガ上級官署カラ公文ヲ受クンレテ上級官署ヘ再述スル時、……等因下縣」……
- 三、畫
 - 題本類「承達セラル」如シ
- 四、畫



「予」……「與フ」ノ意。「准予照辦」……願ノ通許可ス

「擬請予以駁斥」……何卒御部下願上候

「分」……分別ノ略、夫々、別々ニ、ノ意

「分行」……ソレソレ公文ヲ以テ通知スルコト、「行」……公文

「分函」……ソレソレ書面ヲ送ルコト

「分啓」……ソレソレ通達スルコト

「内開」……上級又ハ對等ノ官署ヨリノ公文ヲ受ケ、ソノ中ニ書イテアル事ヲ再述スル場合ノ用語「ソノ中ニ曰ク」示シテ曰フノ意

「不勝……之至」……ノ至リニ勝ヘズ「呈文」終リニ用フル語

「不勝迫切待命之至」……至急御指圖願上候

「不勝激切屏營之至」……乍恐縮御願申上候

「切々毋違」……訓令文結尾用語「決シテ違ツテハナラヌ」ノ意

「切々此佈」……訓令文ノ結尾用語、「特ニ注意ヲ促ス」ノ意

「毋任待命之至」……請願ノ呈文ノ末尾ニ用フル語以上御懇願申上ゲン件ニ付御指圖ヲ切ニ御待申上候

又ハ「御願申上候」ノ意

「毋得遲延」……下行文ノ禁止語「遲延スベカラズ」ノ意

「毋得來者兼濟」……下行文ノ禁止語「當者ニ來ツテ陳情スルナカレ」ノ意

「奉」……輕率ニ、無闇ニ。

五 畫

「令行」……文書ヲ命令スルコトヲ命令ノ冒頭「爲令行事」トシテ用ヒ「令知」ト同シテアル

「令開」……令ハ命令、訓令、指令ニテ「開」ハ書テアル「曰ク」ノ意

「令達」……上行文ニ用ヒ「上申」ノ件ニ付御命令通リ實行可致候」ノ意「示達」

「本」……下行文ニ於ケル自稱、平行文ノ「敝」ニ「本」ヲ用ヒルコトアリ

「未便照准」……呈請ニ對スル返事デ「請願通リ許可シ難シ」ノ意

「未便」……シ難シ、「照准」……請願通リ許可ス

「正辦運間又據」……合併陳明

「丁度處置命令」……ヨウドウシテキタ處ヘ……ノ呈文ヲ受ケトリ追加説明スル

「正封呈聞又奉」……理由附陳

「丁度封シテ出ソウ」……トシテキル處ニ又……ヲ拜讀シ茲ニ申シ上ゲマス

「去後……前來」……下級官署ニ對シ命シタル事件ニ付、下級官署ヨリ復命シタル場合ニ先ヅ命令シタ文句ノ後ニ「去後」ト書キ、次ニ復命ノ文句ノ後ニ「前來」ト書ク

第一編 公文常識 第四章 公文用語ノ解釋

二五

「ソノ後」……ノ趣送達シテ來タ」ノ意

六 畫

「仰」……呈文テハ尊敬ノ意ヲ「仰祈」……「仰イデ」……ヲ祈ル」ノ如ク用ヒル
下行文テ多ク文末ニ用ヒ「命ズル」「セシム」ナドノ意テ命ジテ事ヲ爲サシムル時ニ用ヒル。「仰即達
辦」……直チニ命ニ從ヒ處理スベシ

「存」……指合、批示ノ文末ニ用ヒル、書類ヲ預リ置クノ意
「件存」……書類ハ當方ニ保存ス、「表存」……表ハ當方ニ殘シ置ク、「附件存」……附屬書類ハ當方ニ保
存ス

「合行」……下級官署ニ對スル文末用語「マサニ」……ヲ行フベシ」ノ意
「合即」……「合應」……「マサニ」……「スベシ」下級官署ニ對スル文末用語「茲ニ」「右」ノ意、「合亟令知」
「マサニ」……速カニ命令シテ知ラシム」「右」……令知ス」呈文ノ「理合」「咨文ノ「相應」ト同ジ用法ナ
リ

「有厚望焉」……訓諭文ハ激勵ノ訓令文ノ終リニ用ヒル語テ「厚ク希望ス」ノ意ナリ
「各在案」……在案ト同ジ。「在案」ノ上ニ述ベル事項ガニツ以上即チ複數ノ場合ヲ受ケテ「各」ヲ入レテ
「ナル」デズル。

「各等因」……上級官署ヨリノ來文ヲ再達スル場合「奉」……等因「トナシ」……ノ所ニ來文ノ本文又ハ
「奉」……

「要旨ヲ記スルガ其來文ガニツ以上ノ時ハ複數ナルガ故ニ「各等因」トス
「等因」……以上「云々」……ノ趣」ノ意

「奉等由」……咨文ニ用ヅル語、意味ハ「等因」ト同ジ
「呈請公證」……本行文末尾語「誠ニ奉等由」ノ意ナリ
「再」……合併聲明……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「呈請公證」……呈文ノ本文ノ終リニ追加聲明スベキ事項ガアル場合ノ用法デ……ノ所ニ事項ヲ
書ク

「仰該廳悉心籌呈候核奪」貴廳ニ於テ熟慮討議ノ上、呈請シ當廳ノ裁定ヲ俟ツベシ
 「呈電」呈聞「呈覽」呈覽……御高覽ニ供シ度
 「呈悉」指令文、批文ノ初ニ用ヒル語テ「呈文ハ委細承知シタ」「閱覽シタ」ノ意
 「呈報備査」下級官署ヲシテ「其ノ情況ヲ報告セヨ」トノ意
 「呈報」具申スル、「備査」參考ニスル
 「呈爲呈復事」命令ヲ受ケタノニ對シテ復命スル場合ニ用ヒル冒頭語
 「呈爲……仰新鈞鑒事」呈文ノ冒頭ニ用ヒル語ニシテ「……」ノ所ハ呈請スル事項ヲ簡單ニ記入スル
 「呈爲據情轉呈事」……人ニ代ツテ呈文ヲ出ス場合ニ用フ
 「呈爲……」御高覽」ヲ意ナリ
 「據情」實際ヲ其儘」ノ意
 「呈請核准備案」御調査御許可ノ程願上候
 「呈請察核施行」御調査ノ上御施行ノ程願上候
 「呈懇核奪」呈候核奪
 「呈覆」下級官署ヨリ上級官署ヘノ回答或ハ復命
 「足副公誼」香文ノ「至副公誼」ト同義、公函ニ用フ

「見覆爲荷」……公函文ノ末尾ニ用ヒ「御回答被下ラバ幸甚ニ存候」ノ意

八 彙

「奉此」……上級ヨリ受ケタ公文ノ本文ノ要旨ヲ「奉」又ハ「案奉」ヲ以テ叙述シ始メ最後ニ「等因」ヲ以テ終
 リ次ニ自分ノ方カラ陳述スベキ事情ヲ書キ出ス始メ「奉此」ヲ以テ續ケル
 「案奉」等因奉此」……ノ題拜承仕候依ツテ……スルニ
 「奉令前因」……上級官署ニ對シテ用ヒル語テ「前記ノ事情ノ命令ヲ受ケトレリ」ノ意。上級ヨリ受ケタ公文
 ノ要旨ヲ再述シタ後ニ「前述ノ如キ命令アリタルニ付」トテ次ニ命令ニ對スル處置又ハ意見ヲ述ベルコ
 トニナル

「知悉」……布告文ノ終リニ多ク用ヒル。「承知セヨ」「了解セヨ」ノ意
 「知照」……下行文ニ於テ公「即便知照」「承知セシム」ノ意

「普通ハ通知スル」ノ意ナリ
 「函開」「函稱」……手紙ニ書イテアルニハ」ノ意

「案准貴會函開」貴會ヨリノ御來示ニ接シ其中ニ曰ク
 「所有……」……多ク呈文ノ終リニ近ク全文ニ於テ述ベタ事ヲ總括シテ云フ語、「……」ノ所ニ全文ヲ
 總括シタ語ヲ書ク。呈文冒頭ノ「呈爲……」事ト前後相對應スル語アル。又「所有……」……理由」ハ下ニ

- 「所請」處……指令文、批文ニ用ヒル語、「……趣、願出デタル件ハ」ノ意
 - 「到」……同等官署ヨリ受ケタ公文ノ主旨ヲ再述シ之ヲ結テ斷トシテ用ヒル、「……等因到部」……
 - 「總」本部ニ申越アリ
 - 「狀悉」……批文起首用語、「訴訟狀ノ趣意細知セリ」
 - 「其各便達」……多ク佈告文ノ終リニ書ク語ヲ「ソレ各達ミ達ヘヨ」ノ意
 - 「結准備查」……貴方ヨリノ呈文ノ各節未ダ妥當ナラザル所アルニヨリ暫時猶豫ヲ與ヘヨトノ意
 - 「準別運送」……至急……サレシ事ヲ請フノ意
 - 「具報備查」……下級官署ヲシテ其ノ情状ヲ報告セシメ貴方ノ配屬ニ取ツテ參考トナラシメヨノ意
- 九 畫
- 「願」……呈文ノ末尾ニ懇願希望ノ意ヲ表ハスニ用フ
 - 「伏祈鑒核施行」……仰祈鑒核辦理「御陸議ノ上御施行ヲラシメヨトヲ請フ」
 - 「咨行」……咨文ヲ發スルコト
 - 「咨為咨送」……事……咨文ノ起首用語、「茲ニ……」ノ件ニ付御通知申上候」ノ意
 - 「咨覆」……咨文ヲ以テ解答スル旨願請
 - 「查明見覆」……咨文ニ於テ相手方ノ返事ヲ求ムル用語ニシテ「御調査ノ上御返事被下度候」ノ意、「查明」……詳シク調べル

- 「查核施行」……同等官署間ニ於ケル請求又ハ懇願ノ公文末尾語、「取調ベノ上實施ス」ノ意
 - 「查照備案」……御調査ノ上記録ニ留メ置カレタシ
 - 「是否有當」……呈文ニ於テ自己ノ意見ヲ述ベタ後「貴方ノ申述ベタ事柄ガ合ツテ居リマセウヤ否ヤ」ト云フテ上級官署ニ對シテノ謙遜語
 - 「勉勵毋忽」……調令文ノ終ノ用語ヲ「勸勉ヲ望ム」ノ意
- 十 畫
- 「核」……タマス、取調ベル又ハ考究スルノ意、「核辦」「取調ベノ上處理ス」「核准」「取調ベノ上許可ス」「核奪」……審定決定スル
 - 「准」……同等官署ヨリノ公文ヲ接受セル場合ニ用ヒル「受ケ取レリ」……ニ接セリ」ノ意、又「許可」ノ意モアリ
 - 「咨文ノ「准」ハ呈文ニ於ケル「奉」ノ勸テナナス
 - 「奉奉」……上級官署ヨリノ公文ヲ接受スル場合ニ用ヒル「拜受ス」ノ意
 - 「奉查」……呈文ノ「察查」ト同意味。「調査シテミタルニ」「オモフニ」「サテ」ナドノ意
 - 「奉據」……下級官署ヨリノ公文ヲ受ケタル場合ニ「據テ」……ヲ受取レリ」ノ意
 - 「除分咨外」……各方面ヘ咨文ヲ通達シタルハ勿論、其外ニ」ノ意
 - 「除分別示諭外」……調令末尾用語「各方面ヘ別々ニ調令スルハ勿論其ノ外ニ」ノ意

「技奉前因」「技准前因」「技據前因」
(上行文) (平行文) (下行文)

「酌奪施行」……上行文ニ用ヒル語、「斟酌シテ決定シ實行スル」ノ意

十一畫

「通」……一般ヲ通ジテノ意、「通令」……一般ニ命令ヲ出ス

「通飭」……部下一般ニ命令スル、「通電」……一般ニ電報ヲ發スル

「理合」……「理トシテマサニ」ト讀ム、上級官署ヨリ令文、或ハ訓令ナドヲ受ケソレニ對シ返事又ハ
請願ノ呈文ノ終リニ用ヒ全文ヲ締メク、ル語、「當然……スベキ筈」「技ニ」「右」ノ意

「旋經」……「副經」ト同義。「次イデ……ヲ經タリ」ノ意

十二畫

「著」……著

「爲此」……呈文ニオケル「理合」ト同義ナルモ「爲此」ハ呈文、咨文、令文ノ何レニモ用ヒラレル、「爲此
查覆貴部」「此レガ爲ニ貴部ニ查覆ス」「右御返事申上候」ノ意

「爲」……恭呈仰祈鈞鑒事……呈文ノ冒頭語ニシテ鄭重ナ書式

「鈞鑒」ハ御高覽ノ意

「副切曉諭」……道理ヲワケテ知ラセ驗スコト。佈告文ノ終リニ用ヒル語。

「須至……者」……照會文ニ用ヒル語

「須至照會者」……右照會ニ及ビ候

「須至照復者」……御同答申上候

「須至執照者」……須至憑單者等モ同様ナリ

「執照」……免許狀「憑單」……證明書

十三畫

「稟悉」……批示ノ冒頭用語、「願書」ノ趣委細承知セリノ意

「稟」……人民ヨリ官署ニ差出ス願書ヲ云フ

「當經」……「當」ハ其時タ、チニノ意、「正ニ直ニ……ヲ經テ」ノ意

十四畫

「實効公證」……「實爲公便」……「幸甚」ノ至ノ意
(平行文) (呈文)

二十二畫

「竊」……呈文ニ用ヒ文中ニ於テ自分ノ意見等ヲ述ベントスル時其ノ始メニ書ク、「抑々」「夫レ」ノ意ナ
リ

「竊按」……竊思「竊查」等ハ極メテ謙遜ノ心持ヲ表ハシテキル

「疊經」……カサネテ……ヲ經タリ

第五章 公文ニ於ケル簡略語

- 「呈奉」……「案在某某前呈請云々旋奉指令云々」 (某案ハ先ニ斯々ト呈請ラシテ、斯々ノ指令ヲ受ケタリ)
- 「函准」……「案在某某前呈請云々旋准函覆云々」 (某案ハ先ニ斯々ト函請シテ、斯々ノ回答ヲ得タリ)
- 「令據」……「案在某某前呈請云々旋據呈覆云々」 (某案ハ先ニ斯々ノ命令ヲナシタルトコロ斯々ノ回答ヲ受ケタリ)
- 「案經」……「此案業經」 (本案ハ已ニ)
- 「呈悉」……「據呈已悉」 (呈ノ趣ハ已ニ聞テセリ)
- 「呈准」……「此案前經呈奉令准」 (此案ハ先ニ呈請シテ許可ノ令ヲ得タリ)
- 「令准」……「此案會經呈奉指令照准」 (此案ハ會テ呈請シテ認可ノ指令ヲ受ケタリ)
- 「呈核」……「呈覆候本機關查核駁奪」 (呈ヲ以テ回答シテ本機關ニ於ケル審査決定ヲ待テ)
- 「候奪」……「呈覆候奪」 (呈文ヲ發シテ審査決定ヲ待テ)
- 「令遵」……「賜指令俾遵行」 (指令アリテ遵奉セシメラレタシ)
- 「示遵」……「數請核示俾遵行」 (審査ノ上指令アリテ遵奉セシメラレタシ)

- 「核示遵行」……「數請審核明令指示俾遵行」 (御高覽ノ上詳細審査シテ指示ヲ遵奉セシメラレタシ)
- 「備核」……「以備查核」 (審査ニ供ス)
- 「備查」……「以備查考」 (審査參考ニ供ス)
- 「核飭」……「查核飭遵」 (審査ノ上遵奉ヲ命ゼラレタシ)
- 「核轉」……「查核轉呈(咨、令)」 (審査ノ上轉呈(咨、令)セヨ)
- 「轉遵」……「請轉令某機關遵照」 (某機關ニ遵照方轉令セラレンコトヲ乞フ)
- 「轉飭」……「轉飭某機關遵照」 (某機關ニ遵照方轉飭セラレンコトヲ乞フ)
- 「遵照」……「遵照辦理」 (仰テ照ラシメテ遵リ遵ヒ處理スル)
- 「查照」……「查照辦理」 (文面ニ照シテ處理スル)
- 「查辦」……「明查辦理」 (詳細調査シテ處理スル)
- 「核辦」……「依法辦理」 (法ニ依リテ處理スル)
- 「核辦」……「查核辦理」 (審査シテ處理スル)
- 「遵照辦理」……「遵照令飭各節辦理」 (命令ノ各節ノ遵リ處理ス)
- 「查照辦理」……「查照文開各節辦理」 (文書記載ノ各節ノ遵リニ處理ス)
- 「查明辦理」……「查明審核情形再行辦理」 (審査狀況ヲ詳細調査報告シテ處理セヨ)
- 「知照辦理」……「知照辦理」 (其通り承知ノ上辦理ス)

- 「據情」……「據呈前情」 (先ノ如キ呈ノ趣ナルニ依リ)
- 「謹聞」……「謹以奉聞」 (謹ミテ尊聽ニ達ス)
- 「具報」……「具文呈報」 (書面ヲ以テ報告ス)
- 「遵速辦理」……「遵照令飭各節迅速辦理」 (命ジタル各節ニ遵ヒテ迅速ニ辦理スベシ)
- 「委查」……「委派人員往查」 (人員ヲ派遣シテ調査セシム)
- 「仍續」……「發去原件、辦畢仍行續造」 (送附セル原文件ハ辦理ヲ畢ラバ仍チ返還セヨ)
- 「存存」……「附呈各件、存查」 (送附ノ各文件ハ調査ノタメ存置ス)
- 「存查」……「存案備查」 (案ハ存置シテ調査ニ備フ)
- 「存轉」……「收到各件分別存查轉發」 (送附アリタル文件ハ落手シ夫々存置又ハ轉送ス)
- 「兼轉」……「來件應俟案齊其他之件一併轉送」 (送附ノ文件ハ其他ノ文件相揃フヲ俟テ合併シテ轉送ス)
- 「兼核」……「兼案核辦」 (案ヲ備メテ審查處理ス)
- 「兼案核辦」……「來件應俟與他案案齊一併查核辦理」 (送附ノ文件ハ他案ト相揃メ合併シテ審查ノ上處理ス)
- 「兼案核轉」……「來件應俟與他案案齊一併查核理合再行轉行辦理」 (送付ノ文件ハ他案ト共ニ備メテ合併審查シテ後更ニ轉送辦理セシム)

- 「奉發」……「奉令頒發某件」 (命ニ依リ某件ヲ分送ス)
- 「令發」……「令行頒發某件」 (某件ヲ分送スルヲ命ズ)
- 「准送」……「准函頒送某件」 (函ニ接シタルモノヨリ某件ヲ分送ス)
- 「據送」……「據呈頒送某件」 (呈ニ接シタルモノヨリ某件ヲ分送ス)
- 「頒發」……「分送スル」或ハ「配布スル」ノ意ナリ

第二篇 公文ノ例題

公文程式規則

國民政府ノ公文程式令ハ民國七年ニ制定サレ、十六年八月正式公布サレ、翌十七年六月十一日更ニ又公文程式條例ヲ修正公布シ十七年十一月十五日ニ至ツテ又モヤ改修ヲ加ヘラレタ。然シ乍ラ之等ノ改正ハ何等其ノ内容ニ修正ヲ加ヘタルモノデナク漸次復雜化シタト云フニ過ギナイノデアル。

現南京政府ハ民國十七年ニ公布サレタル公文程式條例ヲ殆ンド其ノ儘使用スル事ニ決シ民國二十九年七月十二日公文程式條例ヲ公布シタノデアル。尙滿洲國ニ於テハ咨文ヲ取消シ之ヲ公函ノ中ニ入レテ使用シテキル。

公文程式條例 (國民政府令民國二十九年七月十二日修正公布施行)

第一條 公文トハ公務處理ノ文書ヲ謂フ其ノ格式(書式)ハ本條例ヲ規定ニ依ル

第二條 公文ノ類別左ノ如シ

一、命令 法令ヲ公布官署ノ任免及指揮スル時之ヲ用フ

- 二、訓令 上級機關ガ所屬下級機關ニ對シテ訓示又ハ委囑スル時之ヲ用フ
- 三、指令 上級機關ガ所屬下級機關ヨリノ申請ニ對シテ指示スル時之ヲ用フ
- 四、佈告 公衆ニ對シテ事實ヲ宣布シ又ハ獎勵訓誡スル場合之ヲ用フ
- 以上ハ國民政府ニ屬スル場合ニ於テハ主席署名シ關係院部會長之ニ副署シ國民政府印ヲ用フ其ノ他機關ニ屬スル場合ニ於テハ當該機關長官之ニ署名シ當該機關印ヲ用フ
- 五、任命狀 官吏任命ノ場合之ヲ用フ
 - 甲 特任官(親任官ニ當ル)任命狀ハ國民政府主席署名シ關係院院長之ニ副署シ國民政府印ヲ用フ
 - 乙 簡任官(勅任ニ當ル)及薦任官(奏任官ニ當ル)任命狀ハ國民政府主席署名シ關係院部會長之ニ副署シ國民政府印ヲ用フ
 - 丙 委任官(判任官ニ當ル)任命狀ハ當該機關長官之ニ署名シ當該機關印ヲ用フ
- 六、呈 五院ガ國民政府ニ對シ各院所屬機關ガ各院ニ對シ其他下級機關ガ直轄上級機關ニ對シ人民ガ公署ニ對シテ陳情セントスル下キニ之ヲ用フ
- 七、咨呈 各部會ガ其ノ隸屬關係ヲキ院ニ對シテ之ヲ用フ
- 八、咨 向級機關ガ公文ヲ往復スル場合之ヲ用フ
- 九、公函 隸屬關係ヲキ機關相互間ニ於テ公文ヲ往復スル場合之ヲ用フ
- 一〇、批 各機關ガ人民ニ對シテ陳請事項ヲ夫々許可及ハ却下スル場合之ヲ用フ

「一」通知、各機關ガ人民ニ對シテ告知スル場合之ヲ用フ
 第三條 五院ハ各省政府及行政院ニ隸屬セル市政府及其所屬機關ニ對シテ令ヲ以テ之ヲ行フ
 第四條 公文ニハ年月日ヲ明記シ且ツ責任者之ニ署名捺印スベシ
 第五條 政府發布ノ公文ハ祕密事項ヲ除クノ外國民政府公報ヲ以テ之ヲ公布スベシ
 第六條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

公文參考例題

次ニ例題ヲ舉ゲテ公文ヲ説明シテ見ヨク

一、呈文

呈文トハ下ヨリ上ニ達スル公文ノ謂テアル。國民政府現行ノ公文程式條例ニヨレバ下級機關ガ直轄ノ
 上級機關ニ對シテ陳述或ハ請求スル時又ハ人民カ公署ニ對シテ上申スル時ニ用フルモノデアツテ公文中
 重要ナル位置ヲ占ムルモノト云フコトガ出來ル。コ、デ云フ直轄上級機關ト云フノハソノ管轄ヲ受ケ
 ル上級機關ノ謂テアル。從ツテソノ管轄ヲ受ケナイモノハタトハ上級機關ト雖モ呈テ用ヒナイ。

例題 A

呈爲呈請核示事 案奉

敕令第二十一號暫行援用從前法令之件第一條之規定從前施行之法令限於與建國主旨國情及法令不相抵

觸之條項一律援用之又奉

敕令第十六號內載凡係共產罪犯無論依據何項法令處斷者均不准赦免之列各等因 茲查本廳接管卷內開
 於共產之罪犯在從前施行之法令中並無專法規定凡有原審判處共產刑案件均係適用暫行反革命治罪法
 第六條及危害民國緊急治罪法第六條分別處斷惟查該項特別法均與滿洲國建國主旨相抵觸依照第二十一號
 敕令既屬不能援用而依照第十六號敕令共產又爲不赦之罪因之關係此項案件應否赦免殊屬疑問本廳未便
 擅擬 理合呈請鈞部指令進行謹呈

〇〇部

- 1 起首段
- 2 依據段
- 3 引申段
- 4 歸結段

(續法)

呈シテ核示ヲ呈請スル爲ノ事、敕令第二十一號從前法令ヲ暫行援用スルノ件ヲ案奉スルニ第一條ノ規
 定ハ從前施行ノ法令ニシテ建國主旨ト國情及ビ法令ニ相抵觸セザルノ條項ニ限リ一律ニ之ヲ援用ス。
 又敕令第十六號ヲ奉ズルニ內載、凡ノ共產罪犯ニ係ルモノハ何項ノ法令ニ依據シテ處斷スル者ヲ論ズ
 ル無ク均シク赦免ヲ准サズノ列、各等因、茲ニ查スルニ本廳ノ接管卷內ニ共產ノ罪犯ニ關シ從前施行
 ノ法令中ニ在リテハ故ニ專法ノ規定無シ。凡ノ原審テ共產罪トシテ判處ヲ有スル刑事案件ハ均シク暫
 行反革命治罪法第六條及危害民國緊急治罪法第六條ヲ適用シテ分別處斷セルニ係ル。惟フニ查スル
 ニ該項特別法ハ均シク滿洲國建國主旨ト抵觸シ第二十一號敕令ニ依照スレハ既ニ援用スルコト能ハザ

第二篇 公文ノ例題

ルニ屬ス。而シテ第十六號命令ニ依照スレハ共產ハ又敵ザルノ罪ト爲ス。之ニ因テ關係此項案件ハ
應ニ裁奪スベキヤ否ヤ殊ニ疑問ニ屬シ本編ハ未ダ據マ、三據スルヲ便セズ。理トシテ合ニ鈞部ノ指令
ヲ呈請シテ進行ス。隨ミテ〇部ニ呈ス。

〔附釋〕

案奉 内閣
案准 内閣 等因

案據 同 等情

「核示」……審査ノ上如何ニ處置スベキカヲ示ス

「第一條之規定」……命令第二十號第一條

「內載」……其中ニ曰ク

「不准撤至之列」……許チナイコトニナツテキル

「接管管内」……事務引繼チセル書類ノ中ニ

「茲無專法之規定」……別ニ專ラ共產罪ノミヲ定メテ規定ガナイ

「案件」……事件

「分別處斷」……ソレゾレ處斷ガシタモノナリ

「未便據擬」……決定致シ兼テ

「遵行」……指令ニ從テ遵行セヨ
例題 B

爲呈請事、竊以本黨職、員在闡明總理遺教、及實現三民主義、使一般民衆、對於本黨主義、有深切之
認識、對於本黨政策、有相當之了解、然後國民革命、始能徹底成功、屬會達斯項目的、因於本年二月
初、鑄發山西黨報一種、冀造成健全之輿論、使本黨主義深入民衆也、惟自出版至今、經費拮据、無從
發展、屬會茲爲擴大宣傳起見、因以常會第二十三次會議議決、改組山西黨報爲太原民國日報、除另草
擬組織條例、隨文呈報外、並將該報每月應支經費數目、理合造具支付預算書、呈送
鈞會審核、如蒙俯准、即請令行國民政府、轉飭山西省政府照發、爲禱、

〔續法〕

呈請スル爲ノ事、竊カニ本黨職員ハ總理ノ遺教ヲ闡明シ及ビ三民主義ヲ實現シ以テ一般ノ民衆ヲシテ
本黨ノ主義ニ對シ深切ノ認識ヲ生ジメ本黨ノ政策ニ對シ相當ノ了解ヲ生ジシムルニアリ、然ル後國民革
命ハ始メテ能ク徹底成功スベシ。屬會斯ノ項ノ目的ヲ達センガ爲本年二月初メニ於テ山西黨報一種ヲ
鑄發シ健全ノ輿論ヲ造成シ本黨ノ主義ヲシテ深ク民衆ニ入ラシメンコトヲ冀ヘリ。惟出版シテヨリ今
ニ至ル經費拮据ニシテ發展ニ從ス無シ屬會茲ニ宣傳ヲ擴大センガ爲ニ見テ起シ常會第二十三次會議ノ
議決ニ因ツテ山西黨報ヲ改組シテ太原民國日報ト爲シ另ニ組織條例ヲ草擬シ文ニ隨ツテ呈報スルヲ除
キ外並ビニ該報每月應支スベキ經費ノ數目ヲ詳列シ理合ニ據テ預算書ヲ造具シ貴會ニ呈送ス、

審議セラレ備准テ蒙ル如ク國民政府ヲシテ山西省政府ニ轉飭シ照會セシメラレン事ヲ關ト爲ス。

(語釋)

「使」………ヲシテ——セシム

「屬會」………本會、下級官署ガ直轄高級官署長官ニ對スル自稱

「鑄發」………發刊スル

「拮据」………困難スル、窮乏スル

「無從」………スル方法ガナシ、「沒法子」ノ意

「爲」………起見………ノ目的(主旨)ノ下

「草擬」………草稿

「呈報」………願出ル

「造具」………作成スル

「鈞會」………貴會

「審核」………審査スル

「轉飭」………傳達スル

「照會」………ソノ通り支出スル、コレニ從ツテ支出スル

例題 O

爲呈復本部業經派定參加日本紀元二千六百年慶祝典禮代表由案奉

鈞院字第八七四號訓令節開「案查關於參加二千六百年紀念典禮一案、現在各都市已呈報參加前項典禮者、連華北方面、統計三十四員、尙有餘額五十餘名、可以派遣參加、該部應速查明所屬官民、有願參加者、即日將姓名官職住所逕電外交部彙辦、萬勿延誤、至於赴日參加代表川旅各費、每名至少約需國幣壹千元、現在國庫支絀、難以籌撥、應由參加者自備、如民衆有自動請求參加者、亦同此辦法、均由外交部體察情形、審慎辦理、除指令外交部遵照、並分電各省府一體遵照外、合行通令、仰該部迅速遵照辦理、仍將參加人員造冊詳報備查、此令」等因奉此、查此案十月四日、准外交部總字第二一九號函請派遣參加代表到部、業經派定秘書陳獨壽、縣政訓練所教務處長劉沂等二員、爲本部參加代表、除函復外交部外、并經檢同名表、呈報

鈞院有案、奉令前因、理合備文呈復、仰祈鑒核備查、謹呈行政院長汪

(讀法)

本部業經派定參加日本紀元二千六百年慶祝典禮ニ參加スル代表ノ派定セルヲ呈復スル爲ノ由

鈞院字第八七四號訓令ヲ案奉シテ節ヲ開クニ「案ジテ查スルニ二千六百年紀念典禮ニ參加スルノ一案

ニ關シテハ現在各都市ハ已ニ前項典禮參加者ヲ呈報セリ、華北方面モ速ニ統計三十四員、尙餘額ハ

五十餘名有ルヲ以テ派遣參加スベキナリ、該部ハ應ニ速ニ所屬官民ヲ查明シ參加ヲ願フ者有ラバ即日

第二編 公文ノ例題

四五

將ニ姓名、官職、住所ヲ外交部ニ通電シテ彙辦シ萬シテ延誤スル勿レ
 赴日參加代表ノ川旅各費ニ至ツテハ每名少キニ至ルモ約國幣一千元ヲ贈トシ現在國庫支拂ハ以テ難發
 シ難シト應ニ參加者ヨリ自備スベシ、如シ民衆ニシテ自動ニ參加ヲ請求スル者有ラバ亦此辦法ニ同
 ジテ均シク外交部ヨリ情形ヲ體察シ彙辦ス、指令シテ外交部ニ送照セシメ並ビニ分電シテ各省政
 府一體ニ遵辦セシムテ除クノ外、合ニ通令ヲ行ヒ該部ヲシテ迅速ニ遵照辦理セシメ仍將ニ參加人員ヲ
 造冊シ詳報セシメテ備査トス、此ニ令ス等因テ此ニ奉ズ、查スルニ此案ハ十月四日外交部總字第二一
 九號ノ函ヲ准クルニ參加代表ノ派遣ヲ請ヒテ部ニ到ル、業經ニ秘書陳蜀壽、縣政訓練所教務處長劉沂
 等ニ員ヲ派定シ本部ノ參加代表ト爲ス、外交部ニ函復スルヲ除クノ外并セテ名表ヲ檢同スルヲ經テ鈞
 院ニ呈報シテ案有リ、今ヲ前因ニ奉シ理トシテ合ニ備文呈復ス、鑒核シテ備査セラレシコトヲ仰ギ祈
 ル。謹シテ汪行政院長ニ呈ス。

(附釋)

「慶祝典禮」……祝典

「節」……文ノ一端、文ノ一段

「連」……合ス

「統計」……合計

「員」……名

「查明」……詳シク調べル

「運」……直チニ

「彙辦」……取纏メ處理ス

「萬勿延誤」……決シテ遅延スル勿レ

「川旅各費」

「節」……必要トスル

「支拂」……支出

「備置」……準備支出スル

「自備」……自ら準備スル

「奉復」……復書

「送附」……轉達ヲ作ル

「詳報彙報」……詳シク報告シテ參考トス

「有案」……其件ニ關シテハ左様手續ヲ完了セリ

「奉令前因」……前述ノ如キ命令アリタルニ付キ

「備文呈復」……文書ヲ具シテ回答申上ク

二「咨文」

第二篇 公文ノ例題

四七

同等級ノ各官署間ニ用ヒラル、公文ヲ咨文トイフ。例ヘバ黨部中ノ執行委員會ト監察委員會、中央黨部ト國民政府、省政府ト省黨部及ビ中央各部院ト各省省政府トノ間ノ如キニハミナコノ咨文ヲ用フルモノデアル

例題 A

爲¹咨行事 查²國有財產法業於本年七月五日以敕令第五十七條公布施行在案 凡³從來在各官署管理之國有財產除現已供或已決定供公用公共用林業經營或礦業經營之用者外餘均應依據法第二十六條之規定作爲雜種財產一律移交本部管理以昭劃一除分行外 相應咨請貴總長查照轉飭所屬各機關照左列各項從速移交實叻公館此咨

各部總長

- 1 起首段
- 2 依據段
- 3 引申段
- 4 歸結段

(讀法)

咨行スル爲ノ事、查スルニ國有財產法ハ業ニ本年七月五日ニ於テ敕令第五十七條ヲ以テ公布施行シテ案ニ在リ、凡ソ從來各官署ニ於テ管理スル國有財產ハ現ニ已ニ公用公共用林業經營或ハ礦業經營ノ用ニ供シ或ハ供スルコトニ決定セル者ヲ除クノ外余ハ均シク應ニ該法第二十六條ノ規定ニ依據シテ雜財產種ト作爲シ一律ニ本部ニ移交シテ管理シ以テ劃一ヲ昭ラカニス。分行ヲ除クノ外相應ニ貴總長ニ咨請シ查照シテ所屬各機關ニ轉飭シ左列各項ニ照シ從速ニ移交セバ實ニ公館ヲ初ス此ニ各部總長ニ咨ス

(語釋)

「業」……已ニ
「在案」……済ミ也
「實叻公館」……感謝ニ堪ヘス
「移交」……管理ヲ移ス

例題 B

爲咨復事、現准貴會議咨開、本會議第一百次會議決、咨請國民政府轉飭財政部、自五月分起、照舊案每月撥政治會議經費兩萬元、相應錄案咨請查照、敬慮需用孔急、請迅飭財政部即日撥付、以資應用等由到府、除已令財政部迅予照案籌撥外、相應咨復貴會議查照、此咨

(讀法)

咨復スル爲ノ事、現ニ貴會議ノ咨開ニ接ス、本會議第一百次會議ニテ議決セリ、國民政府財政部ニ轉飭シテ五月份ヨリ起シ舊案ニ照ラシ毎月政治會議經費兩萬元ヲ撥シ、相應ニ案ヲ錄シテ咨請ス、查照センコトヲ、敬慮需用、孔急ナリ、請フ迅カニ財政部ニ飭シテ即日撥付以テ應用ニ資セヨト咨請セシ等由府ニ到レリ。已ニ財政部ニ令シ迅カニ照案籌撥ヲ予ルヲ除クノ外相應ニ貴會議ニ咨復ス查照スベシ、此ニ咨ス

(語釋)

- 「答復」…… 咨文ニテ回答スル
- 「准」…… 呈文中ノ「奉」ト同ジ
- 「咨開」…… 咨文ヲ開クニ曰フ
- 「轉飭」…… 傳達スル
- 「孔」…… 甚ク、極メテ
- 「撥付」…… 支拂フ
- 「撥」…… 支出スル

例題〇

爲咨行事。前准貴公署咨據河津縣知事呈報二十八年編村等二十一村秋禾被水成災造具表冊請分別蠲免田賦等情。經復勘保成災九分以上檢同簡明表冊查核辦理等因。准此。當經本廳署與財務總署會核。尙無不合。呈請華北政務委員會鑒核。准予在案。茲奉文字第二六一三號指令。尾開既經會核與條例相符。應准如擬辦理。除另令財務總署外。合行指令遵照等因。奉此。相應咨請查照。此咨。

山西省公署

(讀法)

咨行スル爲ノ事、貴公署咨ヲ准ズルニ(曰ク)河津縣知事ノ呈報ニ據レバ二十八年編村等ノ二十一村ガ秋禾ニ水ヲ被リ災ト成レルハ表冊ヲ造具シ分別田賦ノ蠲免ヲ請フ等情、復勘ヲ經ルニ成災ハ九分以上

ニ係リ簡明表ヲ檢同シテ查核辦理ヲ請フ等因、此ニ准ジ當ニ本總署ト財務總署ノ會核ヲ經テ尙合ハザル無シ、呈シテ華北政務委員會ノ鑒核准予ヲ請ヒテ案ニ在リ、茲ニ奉文字第二六一三號指令ノ尾ヲ開クニ(曰ク)既ニ會核ヲ經テ條例ト相符ス、應ニ據ルル如ク辦理スルヲ准ス、另ニ財務總署ニ令スルヲ除クノ外、合ニ指令シテ遵照セシム等因、此ニ奉ジ相應ニ咨シ查照ヲ請フ。此ニ山西省公署ニ咨ス

(讀法)

- 「秋禾」…… 秋ノ收穫季
- 「被水成災」…… 水害ニ遭ヒ收穫ノ半分以上ヲ損失セルモノ
- 「造具表冊」…… 報告報ヲ作ル
- 「分別」…… 夫々レ
- 「田賦」…… 地租、地代
- 「蠲免」…… 免除スル
- 「復勘」…… 再調査スル
- 「成災」…… 災害ニテ收穫ノ五割以上ヲ損失セルモノ
- 「簡明表」…… 簡單ナ明細表
- 「檢同」…… 添付スル
- 「查核辦理」…… 取調ベノ上處理ス

- 「審核」……合議スル
- 「無不合」……合理ナリ
- 「審核准予」……詮議ノ上許可(セラレ度)
- 「在案」……已ニ手續ヲ完了セリ
- 「尾開」……終リノ方ニ曰ク
- 「相符」……合致スル

三、公函

公文ヲ公函トイフノハ公事ヲ通達スル函件ノコトヲ各種公文中公函ノ用途モ少クハナイ。又公函ハ相
 録屬セザル各官署ノ公文往復ノ時ニ當ツテモ之ヲ用ヒル事ガ多イ。即チ各公函、各個人ノ場合デモソ
 レガ公事デアレバ公函ト云ヒ得ルノデアル。國民政府各方面ヨリ與亞院宛ノ公文書ハ全テ公函デアル。

例題 A

逕啓者、案准〇〇軍司令部函稱查從來有籍軍需品之名義以圖通脫關稅者而本〇〇軍當局爲此正在考慮
 中自應遵照另紙要領施行希轉飭各稅關嚴重取締等因到部。除分函外、相應抄同另紙希
 貴稅關長查照本件實施之意思以期毫無遺憾爲感至關於朝鮮輸入軍需品之免稅手續不依此規定合併聲明
 此致
 各稅關長

- 1 起首段
- 2 依據段
- 3 引申段
- 4 歸結段

(續方)

逕チニ啓スル者ハ案ニ〇〇軍司令部函稱、從來軍需品ノ名義ヲ藉リテ以テ關稅ヲ通脫スルヲ圖ル者
 有リ、而シテ本〇〇軍當局ハ此ガ爲正ニ考慮中ニシテ自ラ應ニ另紙要領ニ遵照シテ施行スベシ、希
 タバ各稅關ニ轉飭シテ嚴重ニ取締ラレタク等因部ニ到ル、分函スルヲ除クノ外相應ニ另紙ヲ抄同ス希
 ハクハ貴稅關長ニハ本件實施ノ意思ヲ查照シ以テ毫無遺憾ナキヲ期セバ感ト爲ス。朝鮮軍ガ軍需品ヲ
 輸入スルノ免稅手續ニ關スルニ至ツテハ此規定ニ依ラズ、合ニ併セテ聲明ス、此ニ各稅關長ニ致ス

(附釋)

- 「逕啓者」……拜啓
- 「通脫」……脫稅スル
- 「要領」……トリキヤ
- 「抄同另紙」……別紙寫シト共ニ
- 「爲感」……感謝ス、有難イ
- 「查照」……承知スル

例題 B

逕啓者、日本謀亡我國、處心積慮、已非一日如藉口ニ倭僥倖倭族大、即其辣手之一種、近更得步進歩

出兵山東、助長内亂、全國激昂、若非亟謀自衛、何以圖我生存、所以本埠各界、公決對日經濟絕交、原冀彼邦商民、羣起督促其政府、放棄侵略政策起見、鑒勢核理、殊覺刻不容緩、而入手辦法、當以停止接濟原料爲要着、查原料尤以棉花及雜糧爲大宗、借材我國、往還剝削、漏卮之大、莫甚於此、若即拒其需要、即可予以難堪爲國家前途計、爲社會經濟計、尤推厥策、素稔、貴會執事熱忱愛國、久著令譽、天機所在、諒予贊同、希即召集各貴業商業、討論辦法、俾資舉動、以期福國利民、同人等不勝盼禱之至

(續法)

通テニ啓スル者ハ日本ガ謀ツテ我國ヲ亡ボサント心ヲ處シ慮ヲ積ムコト已ニ一日ニ非ズ、二十一條ニ口ヲ藉リテ旅大ヲ侵佔スルガ如キ即チ其辣手ノ一種ナリ、近ク更ニ步步得テ步步進メ山東ニ出兵シ内亂ヲ助長シ全國激昂ス、若シ亟カニ自衛ヲ圖ルニ非ザレバ何ヲ以テ生存ヲ圖ラン、本埠各界ガ公ニ對日經濟絶交ニ決メシ所以ハモトモト彼邦商民羣起シテ其政府ヲ督促シテ侵略政策ヲ放棄センコトヲ冀フテ見テ起セリ、勢ニ鑒ミ進テ辣手ニ刻トシテ容緩スル能ハザルヲ覺ユ、而シテ入手ノ辦法ハ常ニ原料ノ接濟ヲ停止スルヲ以テ要着ト爲ス、查スルニ原料ハ尤モ棉花及ビ雜糧ヲ以テ大宗ト爲ス、材ヲ我國ニ借リ往還シテ剝削ス、漏卮ノ大此レヨリ甚ダシキハ莫シ、若シ即チ其需要ヲ拒メバ即チ以テ堪ヘ難キヲ予フ可シ。國家前途ノ計ノ爲、社會經濟ノ計ノ爲、厥ノ策ヲ尤推ス、素ヨリ矜ル貴會執事熱忱ニ久シク令譽著ルマテ、天機ノ在ル所諒フニ贊同ヲ予ヘン、希シハ各貴業ノ商業ヲ召集シテ辦法

ヲ討論シ舉動ニ贊セシメ以テ國ヲ福シ民ヲ利セントナ、同人等盼禱ノ至リニ勝ヘザルナリ

(附釋)

「處心積慮」……種々思ヒテ擬ラス

「辣手」……利害的手段

「步步進歩」……飽ク所ヲ知ラナイ

「入手」……開始

「接濟」……援助スル

「要着」……重要ナル方法

「大宗」……最も多イ、大部分

「往還剝削」……精製品トシテ支那ニ輸出シテ支那人ノ懐ヲシヨル

「漏卮之穴」……銀貨ガ國外ニ流出スルノ大ナルコト

「尤推厥策」……實ニ此方法ヲ第一ニ推ス

「俾資舉動」……「伴」ハ……スルニ……ラシム。「舉動」トハ「按配」シテ處理スル

例題 C

通啓者、查本府印信、兼奉

國民政府行政院重鎮頒發、准派員具領到府、計開臺灣軍文印信一類、文曰上海市政府印、并實小官章

第二編 公文ノ例題

五五

一方、文曰上海市長、又角質小官章一方、文曰上海市政府秘書長、當於民國三十年一月一日起鑄發啓用、除將舊印信小官章裁角繳銷並分行外、相應函請、查照、此致
興亞院華中連絡部

(續法)

逕啓ニ啓スル者、查スルニ本府ノ印信ハ業ニ國民政府行政院ノ重鑄頒發ヲ奉シ派員スルヲ經テ具領シ府ニ到ル、計スルニ銅質陽鑿文印信一類、文ニ曰ク上海市政府印ト、牙質小官章一方ハ文ニ曰ク上海市長又角質小官章一方ハ文ニ曰ク上海市政府秘書長ト、當ニ民國三十年一月一日ニ於テ起リ鑄發シテ啓用ス、將ニ舊印信、小官章ハ裁角繳銷シ並ビニ分行スルヲ除ク外、相應ニ函シテ查照ヲ請フ。此ニ興亞院華中連絡部ニ致ス

(附釋)

- 「重鑄頒發」……再造配布
- 「具領」……受領スル
- 「府」……上海市政府
- 「陽鑿文」……彫リ方が出テキルモノ。普通我々ノ使用シテキル印鐵ノ彫リ方ヲ云フ
- 「類」……個
- 「小官章」……職名印

「印信」……官署名印

「木質」……木製

「牙質」……象牙

「鑄發啓用」……鑄ンデ使用スル

「裁角繳銷」……隅ヲ切ツテ印ノ効用ヲ取消シテ使用シナイ

四、訓令

訓トハ教諭ノ意テアル、人ニ教誨スルニ當ツテハ先ヅ遵奉スル所ヲ示サネバナラス。國民政府ハ官吏ニ對シ、上官ガ屬官ニ對シ、高級黨部ガ下級黨部ニ對シテ諭告スル場合ニ訓令ヲ用フ。

例題、A

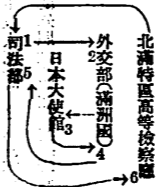
爲令行事、前據北滿特區高等檢察廳呈稱承辦案件必須日人到案作證可否傳訊請示等情到部查事關外交會商外交部核覆去後、茲准該部覆開經准准日本大使館覆開協助滿洲國司法事務固無異議惟直接傳日人作證則難承認應請經由該管日本領事辦理傳案手續並以此爲事件參攷人而詢問之以備審理之參考等因查覆查照爲荷等因准此、除指令暨分行外、合函抄同原呈令仰該院廳知照並飭屬遵照辦理此令

一、起首段、二、依據段、三、依據段二

四、引申段、五、歸結段

(續方)

此閣令文ハ下記説明ノ如キ順序ヲ經タル後出サレタルヲ知ル
 令行スル爲ノ事前ニ北滿特區高等檢察廳ノ呈ニ據レバ稱ス「承辦
 案件ニ必ラズ須ラク日人ヲ案ニ到リ證ト作シ傳訊スベキヤ否ヤ示
 達ヲ請フ等情」部ニ到ル、查スルニ事外交ニ關シ會テ外交部ノ核
 覆ヲ詢メ去後該部ノ覆ヲ准ルルヲ開クニ曰ク「日本大使館ヘ
 准詢ヲ經テ覆開セバ曰ク『滿洲國司法事務ヲ協助スルコト關ヨリ異議ナシ、惟直接日人ヲ傳詢シテ證
 作スハ則チ承認シ難シ、應ニ該管ハ日本領事ヲ經由シテ傳訊手續ヲ繼續シ、此ノ以テ事件參考人
 ト爲シ之ヲ詢問シテ審理ノ參考ニ備ヘルヲ請フベシ、等因』否覆スルニ依リ查照セバ荷ト爲ス等因』此
 ヲ准シ指令及ヒ分行スルヲ除ク外合ニ亟ニ原呈ヲ抄同シ該院廳ニ令仰シテ知照並ニ屬ニ飭シ遵照辦
 理セシム、此令云々、人ニ云々、



〔附釋〕

〔承辦案件〕...取扱事件

〔到案作證可否傳訊〕...法廷ニ呼出シ證人トシテ審問スベキヤ否ヤ

〔請示達〕...指示ヲ受ケテ其通りニシタシ

〔核覆〕...審査回答

〔核准該部覆開〕...故ニ該部ノ返答ヲ受取リタルニ曰ク

〔備查〕...參考

例題 B

爲運令事、案准江蘇省黨部特別委員會婦女青年運動委員會函稱、我國古來有重男輕女之陋習、皆以女
 子不能獨立、而依男子爲生、遂生鄙視女子之意、男女間不平等之待遇乃起、往往貧家生女、輒則送至
 牧生堂、重則溺斃、此習陋習、沿至今日、尙不能免、現在革命成功、敝會以爲此種陋習、若不申令嚴
 禁、殊背總理三民主義之要義、依據現在國民政府之政綱、男女同享參政權、在政治上、男女已無界限
 之分、且現在女子解放運動、已達目的、與男子同享公民權、衆能獨立謀生、是在社會上、男女已處於
 平等地位、縱屬上述各節、若再沿重男輕女之陋習、溺斃女孩、豈非大惡、且上天有好生之德、同屬人
 類、一加愛護、一施殘殺、背滅天道、莫此爲甚、是以請國民政府、通令各地嚴禁溺女、以重人道而
 維世風、實爲德便等由、准此、查溺斃女孩、有罪人道、惡俗相沿、亟應禁止、准函前因、除分行外、
 合行令仰該市政府迅飭所屬一體遵照、嚴切禁止、並將辦理情形呈報勿違、此令

〔覆送〕

通令スル爲ノ事、江蘇省黨部特別委員會婦女青年運動委員會ノ函ニ稱ス、我國古來重男輕女ノ陋習アリ、皆女子獨立スル能ハズシテ男子ニ依ツテ生ヲ爲スヲ以テ遂ニ女子ヲ鄙視スルノ意ヲ生ジ男女間ニ不平等ノ待遇乃チ起リ、往々ニシテ貧家ニ女生ルレバ輒チ牧生堂ニ送至シ重キハ則チ溺斃セシム、此陋習沿フテ今日ニ至リ尙殘存、能ハズ、現在革命成功ス敝會以爲ラタ此種陋習若シ嚴禁ヲ申令セ

ズバ殊ニ總理三民主義ノ要義ニ背ク、依ツテ現在國民政府ノ政綱ニ據リ男女同ジク參政權ヲ享ク、政治上ニ在ツテハ男女已ニ界限ノ分無シ、且現在女子解放運動ハ已ニ目的ニ達シ男子ト與ニ公民權ヲ受ク、衆ネテ能ク獨立シテ生ヲ謀ル、是レ社會上ニ在ツテ男女已ニ平等ノ地位ニ處ス、上述ノ各節ヲ縱觀スルニ若シ再ビ重男輕女ノ陋習ニ沿ヒ女孩ヲ溺斃スルハ豈大惑ニ非ズヤ、且上天ニ好生ノ德アリ同ジク人類ニ屬ス、一ハ愛護ヲ加ヘ、一ハ殘殺ヲ施ス天道ニ背減スル此レヨリ甚クシキヲ爲ス莫シ、是ヲ以テ我國民政府ニ請ヒ各地ニ通令シ溺女ヲ嚴禁シ以テ人道ヲ重シシ而シテ世風ヲ維ツハ實ニ德便ト爲ス等由、准此ス、查スル女孩ヲ溺斃スルハ人道ニ乖クアリテ惡俗相沿ス、亟カニ應ニ嚴禁スベシ、准函等因、分令ヲ除クノ外、合ニ行令仰グ該市政府迅ニ所屬一體ニ飭シテ遵照セシメ嚴切ニ禁止スベシ、並ビニ辦理ノ情形ヲ將テ呈報シ違フ勿レ、此ニ令ス

(附譯)

「案准」……「案」ハ「日」ニ文書(附錄)トナレルコトヲ示ス意、即チ「カネテ」……ヨリ通譯ニ接シテキルガトノ意

「收生堂」……胎子取上テ所

「溺斃」……溺死セシムル

「上天」……天帝

「好生之德」……仁慈ノ德

「溺女」……女子ヲ河中ニ棄テ、死ニ到ラシムル

「等由」……云々ノ意

「案准」……等因(等情、等語、等因)

「准此」……委細承知セリノ意

例題〇

案查各省市徵收營業稅款數目、應依照營業稅法、第十二條之規定、每三個月爲一期、按期編造報告表、呈部查核、業經通令飭遵、並令備依照表式填送各在案、茲查該局本年四、五、六月及七、八、九月兩期營業稅收報告表、逾期已久、迄未據送部、合再令備、仰即遵照前令、迅將是項報告表、分期填就、註日呈送、以憑查核、勿再稽延、爲要、此令

江蘇
安徽
浙江
財政廳

上海市 財政局

(讀法)

案查各省市各徵收營業稅款數目、應依照營業稅法第十二條之規定、每三個月爲一期、按期編造報告表、呈部查核、業經通令飭遵、並令備依照表式填送各在案、茲查該局本年四、五、六月及七、八、九月兩期營業稅收報告表、逾期已久、迄未據送部、合再令備、仰即遵照前令、迅將是項報告表、分期填就、註日呈送、以憑查核、勿再稽延、爲要、此令

第二篇 公文ノ例題

六二

九月兩期ノ營業稅收報告表ハ限テ送ルコト已ニ久シキモ未ダ據リテ送リ部ニ到ラズ、合ニ再ビ令シテ催シ即チ前令ヲ遵照セシム、迅ニ將ニ是項ノ報告表ヲ分期填就シ日ヲ對リテ呈送シテ以テ査核ニ憑シ再ビ稽延スル勿レ、要ト爲ス此ニ〇〇〇ニ令ス

(附釋)

「稅款數目」……稅金高

「編造」……編ミ造ル

「査核」……詳シク調べル

「飭遵」……遵奉テ命令スル

「填送」……記入送付スル

「令催」……命令ヲ以テ催促スル

「迄未據送部」……未ダ部ニ送付シナイ

「分期填就」……期毎ニ記入スル

「對日呈送」……日限リシテ送付セヨ 「甚」……切

「憑」……證據、頼リ

五、指令

指令ト云フハ所謂批閱ノ意ヲ下級官署ガ上級長官ニ對シテ呈請又ハ呈報ヲナス場合、上級長官ハ必

ラズ批閱ヲ與ヘテ其呈報、呈請ニ關リナキヤ適當ナリヤ否ヤヲ指示シ、或ハ之レニ反對シ或ハ之レヲ訂正スルモノデアル指トハ手ヲモツテ指示スルコトデ公文中ニアツテハ之ヲ指令ト云フ

例題 A

呈及附送各項規程均悉、査關於哈爾濱特別市委員會委員名額著依據大同元年八月十七日敕令第七十七號公布特別市制第二十條第二項之規定應准增加六名共計爲二十一、至所送各項規程審核尙無不合准予備案茲將左列各件原案隨令檢發仰即查照辦理此令

1 起首段 2 依據段 3 引中段 4 歸結段

(圖式)

呈及附送ノ各項規程均シク悉ス、査スルニ哈爾濱特別市委員會委員名額ニ關シテハ大同元年八月十七日敕令第七十七號公布ノ特別市制第二十條第二項ノ規定ニ依據シ應ニ六名ヲ增加スルヲ准シ共計二十一名ト爲スコトヲ著ス、送ル所ノ各項規定ノ審核ニ至ツテハ尙合ハザル無シ、准シテ備案ヲ予フ、茲ニ將ニ左列各件ノ原案ヲ令ニ隨ツテ檢發ス、即チ查照辦理セシム、此ニ令ス

(附釋)

「附送」……附屬送付

「名額」……定員

「著」……許ス、示ス

第二編 公文ノ例題

第三編 公文ノ種類

- 「准予備案」……許可ヲ與フ
- 「命令」……命令ニシテ
- 「檢査」……調ベテ決メ
- 「査照辦理」……承知ノ上處理スベシ

右圖

例題 B

據呈已悉、此案經由本部提交政治會議議決、應用民國元年先總理紀念幣舊模、趕先開鑄、調換金融、仍一面從速覓匠鑄製新模、永久鑄用、此令

呈三據リ已ニ悉ス、此案ハ本部ヨリ政治會議ニ提交シテ議決ス、應ニ民國元年先總理紀念幣ノ舊模ヲ用ヒ趕先シテ開鑄シ鑄製新模ヲ調換スベシ、仍ニ一面從速從匠ヲ覓テ新模ヲ鑄製シ永久鑄用スベシ、此ニ令ス

(解釋)

- 「舊模」……舊ノ模製(鑄型)
- 「趕先」……發出シテ願書ニヨツテ……
- 「提交」……提出スル
- 「檢査」……檢査ス

例題 O

二十九年十一月二十五日會公字第一六四號呈一件、爲呈送空白軍用運輸護照兩全冊、暨填就軍用運輸護照七張、請用印發、以利軍運

呈件均悉、准予照辦、除空白護照存候發給印另令發還外、填就軍用運輸護照七張、隨令印發、此令

(辦法)

二十九年十一月二十五日會公字第一六四號呈一件、呈シテ空白ノ軍用運輸護照兩全冊暨填就ノ軍用運輸護照七張ヲ送リ印發用ヒテ發還テ請ヒ以テ軍運ニ利スル爲ノ由

呈件均悉、照辦ヲ行フルヲ准ス。空白ノ護照ヲ存シ給印發給テ另ニ令シテ發還スルヲ除クノ外、填就ノ軍用運輸護照七張ヲ令ニ隨ヒ印發ス、此ニ令ス

- 「空白」……空白ノ紙
- 「兩全冊」……二冊
- 「填就」……印刷シテ了ル
- 「用印」……印ヲ押ス

第三編 公文ノ例題

六五

「發遣」……返還
 「軍運」……軍需品ノ運輸
 「准予照辦」……申越通り許可ス
 「鈐印」……鈐印
 「印發」……印刷發行ス

六、批
 批トハ各官署ガ人民ヨリノ陳述請願ニ對シテソレノ許可シ或ハ却下スル場合ニ用ヒル

例題 A

原具呈人奉天聖道理善研究總會會長祖憲庭
 呈覽簡章均悉 查此案業經令據奉天省查覆該會宗旨尙無不合之處 所請改爲大滿洲國聖道理善聯合總會一節 應准如擬備案仰即知照此批

- 1 起首段
- 2 依據段
- 3 引申段
- 4 歸結段

(讀方)

呈覽ニ簡章均シク悉ス、查スルニ此案ハ業經ニ令シテ奉天省ノ查覆ニ據レバ該會ノ宗旨ハ尙合ハザルノ處ナシ、請フ所ノ改メテ大滿洲國聖道理善聯合總會トナスノ一節ハ應ニ擬スルトコロノ如ク准ジ備案トス、即チ知悉セシム、此ニ批ス

(語譯)

「簡章」……附屬ノ略則

「業經」……已ニ

「令據○○查覆」……先ニ○○ニ命令シテオイタガソノ回答ニヨレバ

「尙無不合之處」……別ニ不都合ノ處ナシ

「應准如擬備案」……原案通り許可シテ備案トス

「業經令據奉天省查覆」……前經令行旋據呈覆

例題 B

呈悉、該總隊長此次在滬工作、勸勞卓著、本司令正資俸昇該總隊長何得連勇退志、仰仍力疾從公、勉爲其難、完成革命工作、貫徹三民主義、所請着無庸議、辭呈發還、此批

(讀法)

呈悉ス、該總隊長此次滬ニ在ツテ工作勸勞卓著ナリ、本司令正シク俸昇ニ資セントス、該總隊長何ノ連カニ退志ヲ萌ステ得ジ、仰ダナホ力疾公ニ從ヒ勉メテ其難ヲ爲シ、革命ノ工作ヲ完成シ、三民主義ヲ貫徹セヨ、請フ所着議ヲ庸アル無シ、辭呈ヲ發還ス、此ニ批ス

(語釋)

「工作」……仕事

「正資僑身」……丁度其力ニ倚頼(タヨル)スル
「所請者無庸議」——你所請の辭職の事、簡直的就不用商量 着——就
「返還」……返還スル

例題〇

批發沙尼亞國 僑民部轉給

呈一件爲呈請准予轉入中國國籍由
呈悉、查國籍法施行條例規定、依國籍法歸化中華民國國籍者、由本人出具願書及住居地方公民二人以上之保證書、聲請住居地方之該管官署轉請內政部核辦、又查內政部發給國籍許可證書規則、凡依國籍法歸化者每人徵收手續費國幣十二元及另徵印花稅兩元、合行批仰該具呈人遵照前定、呈向住居地方主管官署核辦轉呈此批

(讀法)

呈一件呈請中國國籍ニ轉入ヲ准予テ請フ爲ノ由

呈悉ス、查スルニ國籍法施行條例規定ハ國籍法ニ依リ中華民國國籍ニ歸化セル者ニシテ本人由リ願書及ビ住居地方公民二人以上ノ保證書ヲ出具シ住居地方ノ該管官署ニ聲請シ轉シテ內政部ノ核辦ヲ請フ。又內政部ヨリ發給スル國籍許可證書規則ヲ查スルニ凡ソ國籍法ニ依リ歸化スル者ハ每人手續費國

幣十二元ヲ徵收シ及ビ另ニ印花稅兩元ヲ徵ス、合ニ批ヲ行ヒ該具呈人ヲシテ前定ヲ遵照セシメ住居地方主管官署ニ核轉辦理ヲ呈セシム、此ニ批ス

(附釋)

「呈稱」……申請ス

七、佈告

佈告トハ衆ニ告グルノ文デアリ。即ち警告、教諭、勸導ノ意ヲ含ムモノデアツテスベテ官署ガ一般人ニ對シ事實ノ宣布ヲナシ、或ハ警告シ或ハ勸導シ周ク大衆ニ知ラシムル場合ニハ皆コレノ佈告ヲ以テナス。故ニ政府、黨部及ビ各公團ハ均シク之ヲ用フ

例題 A

爲佈告事 查霍亂(即ち流行性霍亂)爲一種流行最烈之病自侵入國境以來初發生於營口太連瀋陽延於滿鐵沿線近則遼寧縣又時有此疫發生人民死亡者前後相繼連日聞報已死亡百餘人之多爲害之烈令人震懼本部聯司全國衛生於惡疫初發之際即通令各省區嚴加防範一面設防疫所分派醫官隨處檢查治療並制定預防霍亂暫行令二十二條呈

國務院指令第五條內開呈及附件均悉准如所擬辦理仰即以前令通飭各省區遵照可也附件存等因奉此 除分行外合將條文刊佈於後仰各商民人等一體週知事關防範惡疫須遵守以期早日撲滅切切此佈

第二篇 公文ノ例題

(讀方)

佈告スル爲ノ事、查スルニ虎列拉ハ一種ノ最烈ニ流行スルノ病ト爲シ國境ニ侵入シテ自リ以來初メ管
 口大連ニ於テ發生シ漸ク滿鐵沿線ニ於テ蔓延ス、近クハ則チ遼寧群縣モ又時ニ此疫發生スル有リ、人
 民死亡者前後相繼ギ通達一隅ノ報ズル所ニ據レバ已ニ死亡百餘人ノ多キニハホリ害ノ烈ハ人ヲ令テ駭
 懼セシムルモノトス。本部ノ職ハ全國ノ衛生ヲ司ドリ惡疫初發ノ際ニ於テ即チ各省區ニ通令シ嚴ニ防
 範ヲ加ヘシメ一面防疫所ヲ設ケ醫官ヲ分派シ隨處ニ検査治療セシム、茲ニ霍亂預防暫行令(十二)條ヲ
 制定シ呈シテ國務院指奪第五條ヲ奉ズルニ内開呈及ビ附件均シク悉ス、據スル所ノ如ク辦理スルヲ准
 シ部令ヲ以テ各省區ニ通令シテ遵照セシメテ可ナリ、附件ハ存ス等因、此ヲ奉シ分行スルヲ除クノ外
 將ニ條文ヲ刊佈シ後ニ於テ各商民人等一體ニ週知セシム、事惡疫ヲ防範スルニ關スレバ須ラク遵守シ
 以テ早日撲滅ヲ期スベシ、切々此ニ佈ス

(註釋)

- 〔霍亂〕 虎列拉……コレラ
- 〔辟瘴〕 ……辟地
- 〔通達〕 ……バイタル地方
- 〔駭懼〕 ……驚ロキ恐ル、恐傳スル

〔防範〕…防備、用心

〔條文刊佈〕…條文ヲ發表布告ス

例題 B

爲佈告事、查辦理放足、現已進行至第三期實行検査、並奉總司令諭、遇有頑固不放者、即管押其家長、
 誠以擯足一事、爲婦女切身痛苦、並非所願、純由無論家長、狂於積習、強制壓迫、以致害其終身、禍
 及國家種族、疫情度理、罪在家長、故本處專擬定罰辦擯足婦女家長暫行條例、計共九條、呈請省政府
 核准公布在案、除分令各縣遵照嚴行辦理外、合亟將原條例附列於後、仰各家長等一體週知、務將家內
 擯足婦女、一律解放、勿得稍存觀望、陷身固圍、自取咎戾、並仰街區村長等切實向各家長開導、幸勿
 推諉、同受愆尤、本處長官出法隨、決不寬貸、其各慎遵、切切此布

(讀法)

布告ノ爲ノ事、查スルニ放足ヲ辦理スルコトハ現ニ已ニ進行シ第三期ノ實行検査ニ至ル、並ビニ總司
 令ノ諭ヲ奉ズ、遇々頑固ニシテ放タザル者アラバ即チ其家長ヲ管押セヨト、誠ニ擯足ノ一事ハ婦女ニ
 ドリ身ヲ切ルノ痛苦ト爲ス、並シテ願フ所ニ非ズ、純ニ無論ノ家長ニ由リ積習ニ狂レ強制壓迫、害ヲ
 其ノ終身ニ致シ禍ヲ國家種族ニ及ボスヲ以テ情ヲ按リ度ルハ罪家長ニ在ルヲ以テ故ニ本處專ラ擯
 足婦女ノ家長ヲ罰辦スル暫行條例ヲ擬定セントス、計共九條ナリ、省政府ニ呈請シテ核准、公布案ニ
 在リ、各縣ニ分令シテ遵照嚴ニ辦理行フヲ除クノ外合ニ亟ニ原條例ヲ附列スベシ、仰各

家長等ニ通知シ務シテ家内親屬足ニ婦女ヲ將テ一律ニ解放シ稍難望テ存シ身ヲ固固ニ陪ヒ自ラ管展
ヲ取ルヲ得セシムル勿レ、並ニ三仰テ衛區村長等切實ニ各家長ニ向テ之ヲ開導セシムトナ、幸ニ推察シ
テ同シ必慈尤ヲ受タルコト勿レ、本處長ノ言出ツレバ法隨ス、ホシテ寛貸セズ、其レ各々遵遵セヨ、
切々此ニ學ス

（附註）

- 「留押」……拘留スル
- 「家長」……一家ノ主人
- 「緩情度理」……推シ量ル
- 「推定」……推定スル
- 「呈請」……申請スル
- 「核准」……核准シテ認可スル
- 「檢査」……檢査シテ認可スル
- 「通知」……入々ナシテ之ヲ周知ラシムル
- 「稍存難望」……放足スルヲ中止シテ形勢ヲ觀ヲコト
- 「自取管展」……自露苦惱
- 「推察」……責任ヲ免レシトスルコト
- 「寛貸」……寛大

- 「決不寬貸」……佈告用語、決シテ容赦セヌノ意
- 「其各遵遵」……各自ヨクコノ佈告ヲ遵奉セヨ
- 「切切此佈」……佈告ノ結尾語

例題 〇

照得、中央儲備銀行、業經籌備就緒、定於三十年一月六日在首都正式成立、開始營業、由政府授予特
權、發行一元五元十元兌換券及一分五分一角二角五角輔幣券在案、嗣後人民納稅匯兌及公私往來、一律
行使、並爲穩定金融市場、保障人民資產起見、對於現在流通之各種舊法幣、暫准與中央儲備銀行之法
幣、等價流通、合行佈告週知、仰即遵照本部十二月十九日發表聲明主旨、一體行使、如有意存破壞、
拒絕收受情事、一經發覺、定當依法懲處、不稍寬貸、切切、此佈

（附註）

照得、中央儲備銀行、業ニ籌備ヲ經テ就緒ニ至リ、三十年一月六日ヲ定メ首都ニ於テ正式ニ成立シ營業ヲ開始
スルコトナレリ、政府ハ之ニ特權ヲ授予シ一元、五元、十元ノ兌換券及一分、五分、一角、二角、
五角ノ輔幣券ヲ發行シテ案ニ在リ、嗣後人民ニシテ納稅、爲替、及ビ公私ノ往來ニハ一律ニ行使シ並
ニ金融市場ヲ穩定シ人民ノ資產ヲ保障スル爲ニ起見シ現在流通ノ各種舊法幣ニ對シテハ暫ク中央
儲備銀行ノ法幣ト等價ニテ流通ヲ准ル。合ニ佈告週知ヲ行ヒ即チ本部ガ十二月十九日ニ發表セル聲
明主旨ヲ遵照シ一體ニ行使セシム、如シ意存存シテ破壞シ拒絶スルノ情事アリ一度發覺ヲ經レ

第二編 公文ノ體裁

バ定ラズ當ニ法ニ依リ懸處シ稍モ寬貸セザルベシ、切々此ニ佈ス。

(語釋)

「照得」……公文用語、陳者ノ意

「輔幣券」……補助紙幣

「匯兌」……爲替

「寄存」……私意ヲ抱ク

「情事」……等ノ事情

「不寬貸」……許サナイ

附 録

一、中國省名異稱

江 安 浙 湖 湖 江 浙 安 江	省 名	吳、蘇、寧	稱
蘇 徽 江 西 南 北 南 川 雲 貴 福 廣 廣	省 名	越、豫、魯、楚、南、北、南、川、南、南、中	稱
桂 粵 閩 黔 滇 漢 蜀 鄂 湘 豫 蘇 越 皖 吳	省 名	越、豫、魯、楚、南、北、南、川、南、南、中	稱



附錄

三、中國省名略稱

蒙	西	新	西	青	甘	寧	綏	察	陝	河	山	河	山
古	藏	疆	康	海	肅	夏	遠	爾	西	南	北	東	
蒙	藏	新	康	青	蘭	甘	寧	察	陝	豫	冀	魯	齊
					州					豫	冀	魯	齊

齊、魯、山左
京、冀、幽、燕、冀、燕
晉、西、魯、山右
豫、汴、豫南
秦、陝、關中

附錄

227

附錄

三、中國主要地名異稱

奉	吉	陝	雲	兩	江	江	湖	閩	兩	江	中	南	東
天	林	西	南	廣	西	蘇	蘇	浙	浙	蘇	蘇	蘇	蘇
天	林	西	南	廣	西	蘇	蘇	浙	浙	蘇	蘇	蘇	蘇
天	林	西	南	廣	西	蘇	蘇	浙	浙	蘇	蘇	蘇	蘇

江蘇省、安徽省、江西省、福建省、浙江省、直隸省、山東省、山西省、河南省、湖南省、湖北省、雲南省、貴州、廣東省、廣西省、四川省、陝西省、甘肅省、吉林省、黑龍江省、奉天省、吉林省

附錄

228



附録

四、四季ノ異名

貴昆	桂	福	成	寧	徐	湖	太	長	山	原	漢	重	漢	戰
陽	明	林	州	都	波	州	州	原	安	關	台	門	慶	口
州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州
益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南	益州府、雲南

七九

附録

安	長	杭	南	北	九	南	泗	上	蘇	太	河	開	濟	張	天
慶	沙	州	京	京	江	昌	州	海	州	府	府	封	南	口	津
州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州	州
舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧	舒州、皖城、懷寧

七八



附錄

八〇

春	春陽、陰陽、蘭時、臘陽
夏	朱明、炎帝、朱夏、長夏
秋	金天、白藏、素商、高商
冬	元英、歲餘、清冬、安寧

五、月ノ異名

一月	正陽、初月、孟春、嘉平
二月	仲春、仲陽、麗月、酣春
三月	晚春、抄春、宿月、季春
四月	孟夏、初夏、清和、麥月
五月	仲夏、暑月、滿月、鳴蜩
六月	季夏、荷月、派暑、且月
七月	孟秋、上秋、涼月、蘭秋
八月	仲秋、仲商、桂月、壯月
九月	季秋、菊月、涼秋、戌月
十月	孟冬、初冬、小春、陽月
十一月	仲冬、紙月、腹月、黃鐘

十二月 季冬、臘月、殘月、臘月

六、時ノ異稱
A 十干(天干)

甲	闕、遊、迷
乙	蒙、蒙
丙	朧、朧
丁	暈、暈
戊	暈、暈
己	上、章、維
庚	重、光
辛	重、光
壬	重、光
癸	重、光

B 十二支(地支)

子	困、若、若
丑	困、若、若
寅	困、若、若
卯	困、若、若
辰	困、若、若
巳	困、若、若
午	協、洽、祥
未	協、洽、祥
申	協、洽、祥
酉	協、洽、祥
戌	協、洽、祥
亥	協、洽、祥

附錄

八一



附 録

七、中國各種號碼

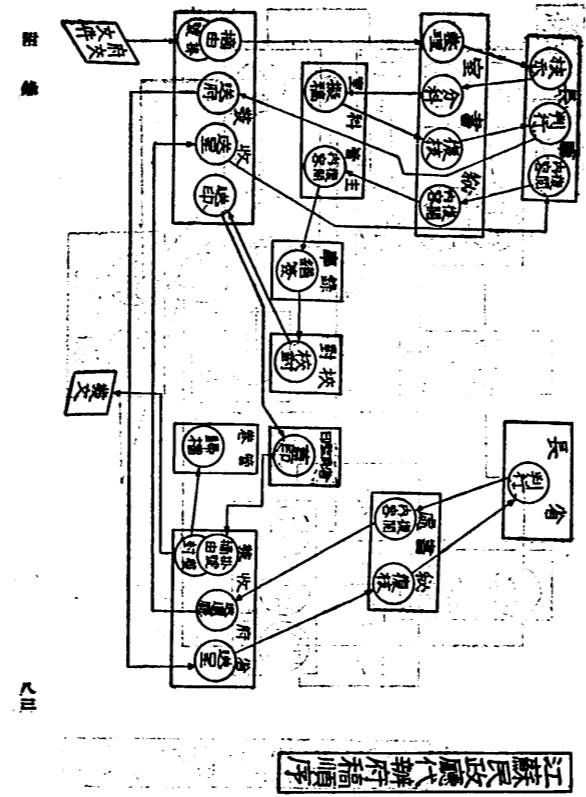
數 目	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 五十一 一百
中國號碼	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 五十一 一百
中國大寫號碼	壹 貳 參 肆 伍 陸 柒 捌 玖 拾 壹拾 貳拾 伍拾 壹佰 壹仟

八二

八、中國公文處理用語

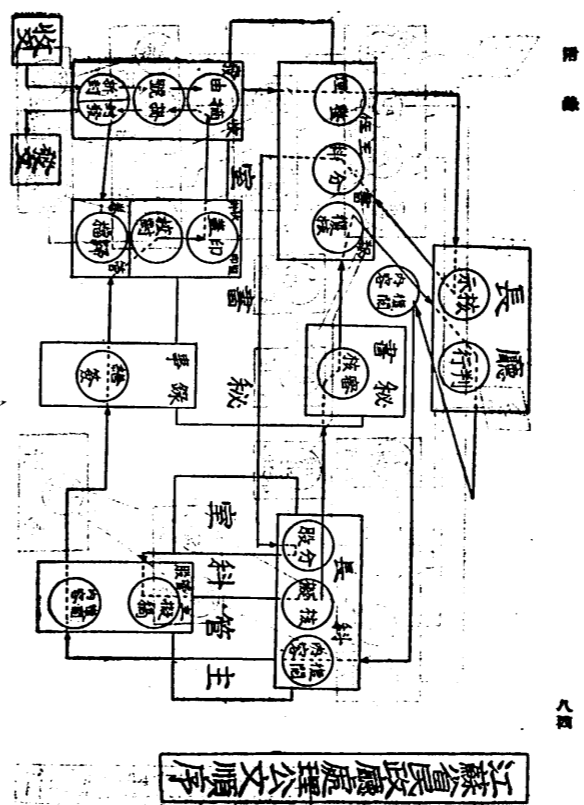
適當ノ引例ヲ見出シ得ザルタメ江蘇省政府民國二十八年十二月末現在ニ於ケル左ノ圖表五枚ヲ引例掲載シテ參考ニ供シテ見ル

30 230

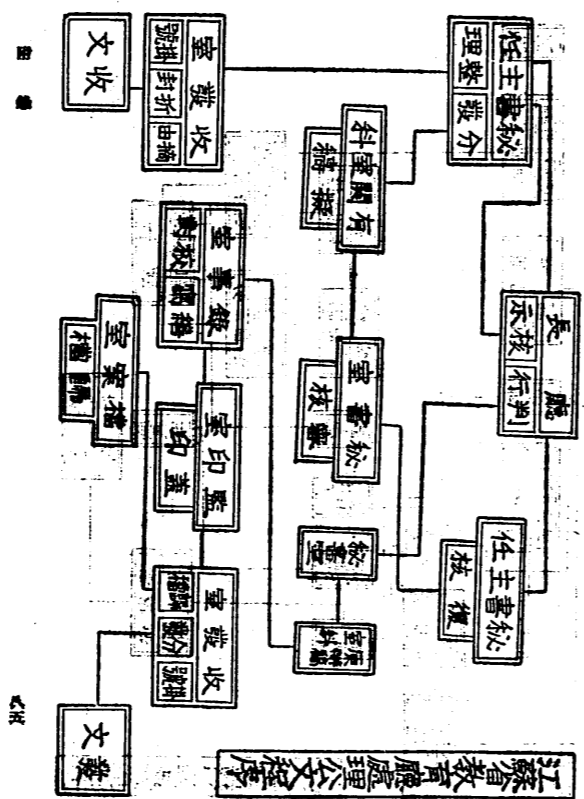


八三





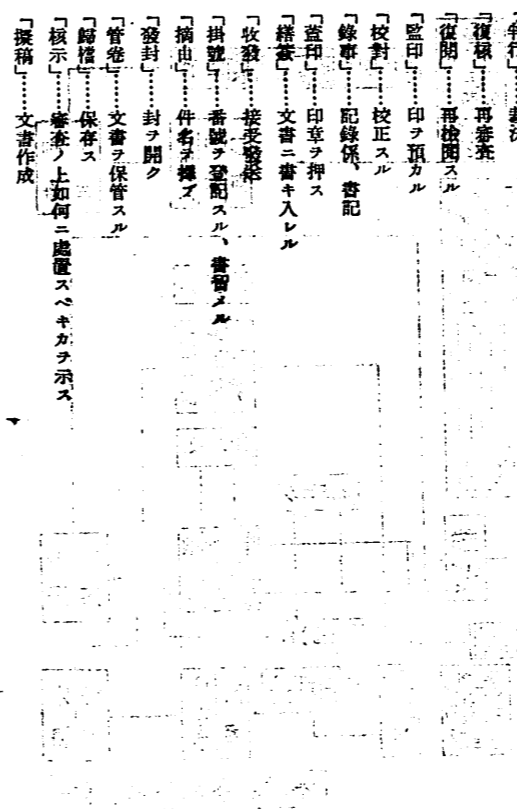
231



232

附 録

今右ノ圖表中ニ掲載サレアル文件處理止ノ用語ヲ説明シテ見ヤ



八八

233

- 「封發」……封印スル
- 「封納」……封入スル
- 「審査」……審査スル
- 「核定」……審査決定スル
- 「會答」……討論スル
- 「簽註」……記入スル
- 「會核」……相會シテ審査スル
- 「檢収」……査収スル、調ベテ受取ル
- 「票據」……手形

以上圖表中ニ現レタル用語ノ外、文書處理上多ク使用サレル用語ヲ説明シテ見ヤ

- 「摘録」……題ビ書キ込ム
- 「字樣」……文字
- 「書明」……明記スル
- 「辨別」……檢閲スル
- 「編號」……番號ヲ附ス
- 「檢閲」……檢閲
- 「發交收發處」……發送接受係

八九

附録
 〇〇
 〔登記〕印子押入
 〔散失〕散逸
 〔随文附送〕附付物
 〔收到〕接收
 〔承辦〕引受ケル
 〔擬辦〕辦理ス、處理ス
 〔註明〕明記ス
 〔交辦〕接受ス
 〔免註〕記入セズ
 〔驗辦〕驗告スル
 〔查卷〕書類ノ調査
 〔核算〕詳細ニ査定スル
 〔查明核辦〕明記スル
 〔核閱〕査閱スル
 〔存査〕記録文書
 〔集齊〕集録スル
 〔立簿〕帳簿ヲ作成スル

〔審査〕明確ニ調査スル
 〔察核〕審査スル
 〔開單〕書類ニ記入スル
 〔核准〕許可スル
 〔譯電〕電報ヲ翻譯スル
 〔交回〕回付スル
 〔稿件〕文書
 〔洽商登註意見〕相互ニ協議シ意見ヲ付ス
 〔分交各科組〕各科組ニ區分ス
 〔擬稿〕起草ス
 〔簽核定〕審定
 〔印發〕印刷發行スル
 〔留存〕圖書ヲ保存スル
 〔擬訂〕編定スル
 〔協商〕共同シテ協議スル
 〔承辦人員〕擔當者



精 査

- 〔精査〕……校正簿書スル
- 〔精査〕……文書ノ調整ト校正
- 〔精査〕……簿書スル、文書ヲ調整スル
- 〔精査〕……書類、文書、文書ヲ作ル
- 〔精査〕……簿記、簿記……高シ終ル、文書ヲ調整スル
- 〔精査〕……調整シテ差出ス
- 〔精査〕……調印ヲスマス
- 〔精査〕……受付
- 〔精査〕……文書ニ署名スル、調印スル
- 〔精査〕……添付スル
- 〔精査〕……再校閱
- 〔精査〕……複製スル
- 〔精査〕……添付スル
- 〔精査〕……公報ニ掲載スル

尚二般文書ノ分類法トシテハ左ノ如シ

一 簿記、書類、簿記、連件、最速件

五二

